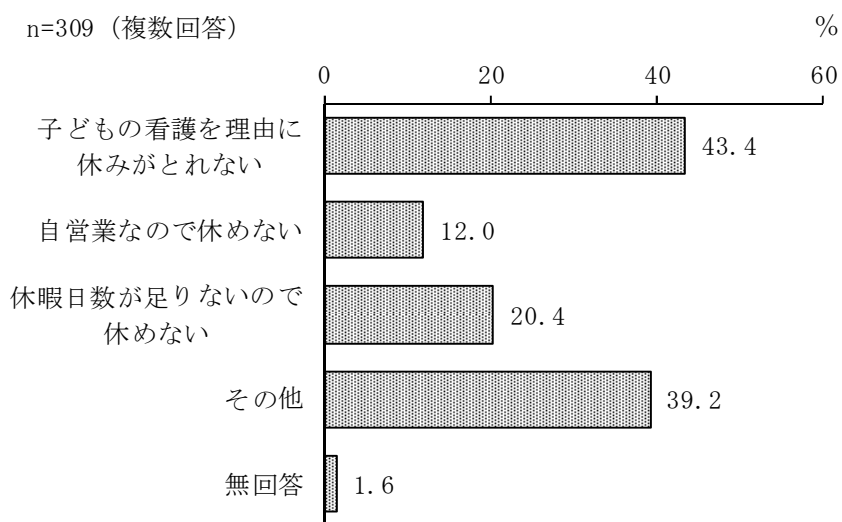


(7) 子どもの看護のための休暇取得が難しい理由

問 24-5 で「2. 休んで看ることは非常に難しい」に○をつけた方にかがいました。

問 24-6 そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が最も多く、43.4%となっています。次いで「休暇日数が足りないので休めない」が20.4%、「自営業なので休めない」が12.0%と続いています。



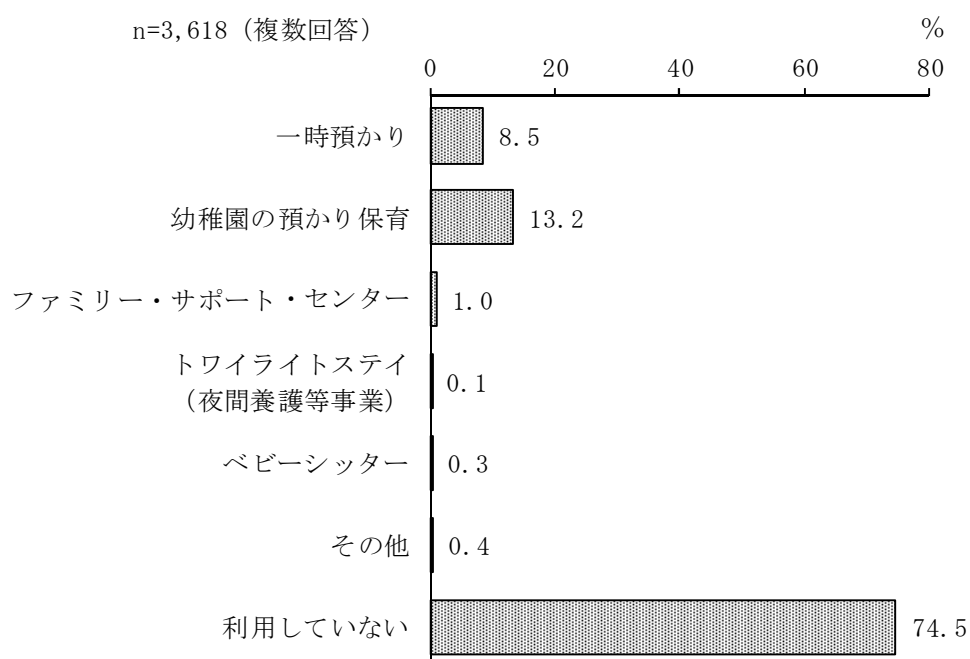
9. 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況について

(1) 不定期の教育・保育事業や一時預かり等の利用状況と日数

問25 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期に仕事に就く等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

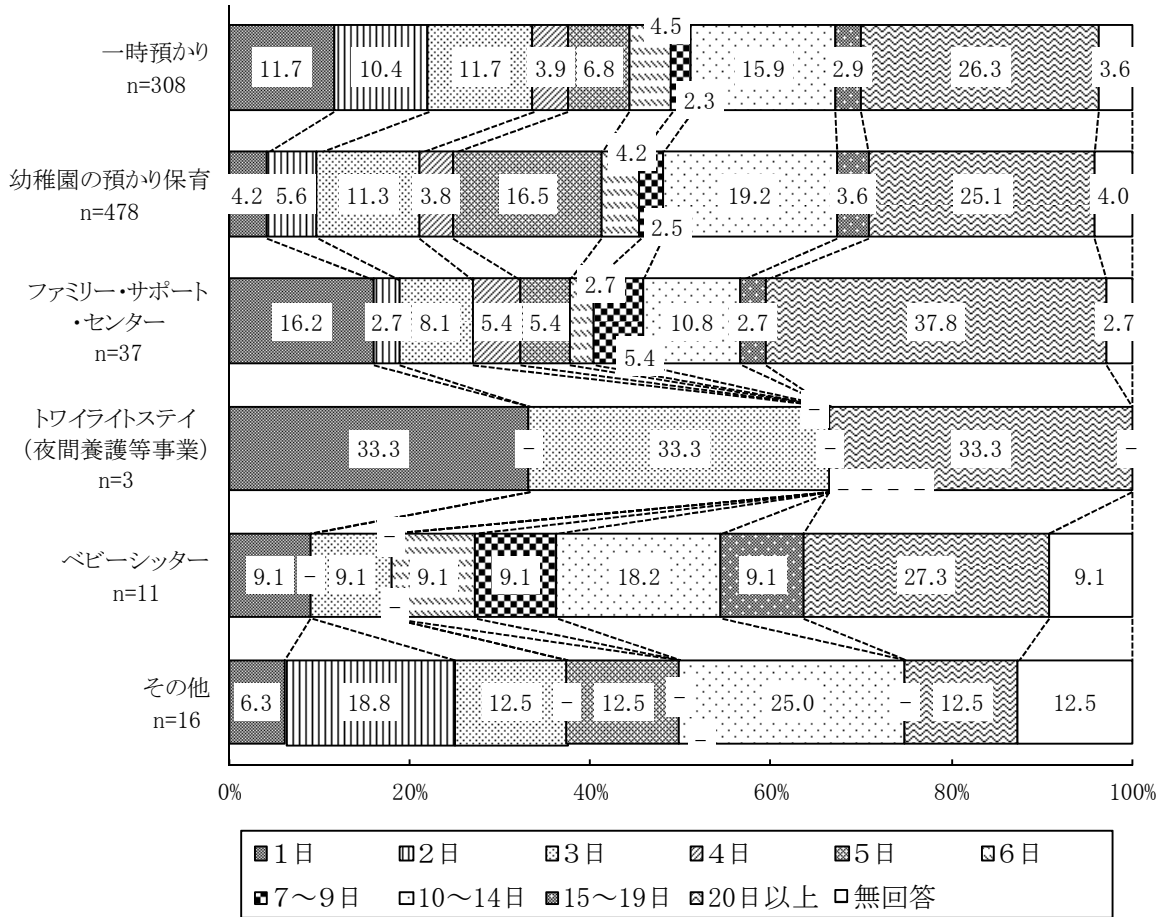
①利用状況

「利用していない」が最も多く、74.5%となっています。次いで「幼稚園の預かり保育」が13.2%と続いています。



②日数

“一時預かり” “幼稚園の預かり保育” “ファミリー・サポート・センター” は『10日以上』（「10～14日」「15～19日」「20日以上」を合わせた割合）が50%前後と多くなっています。



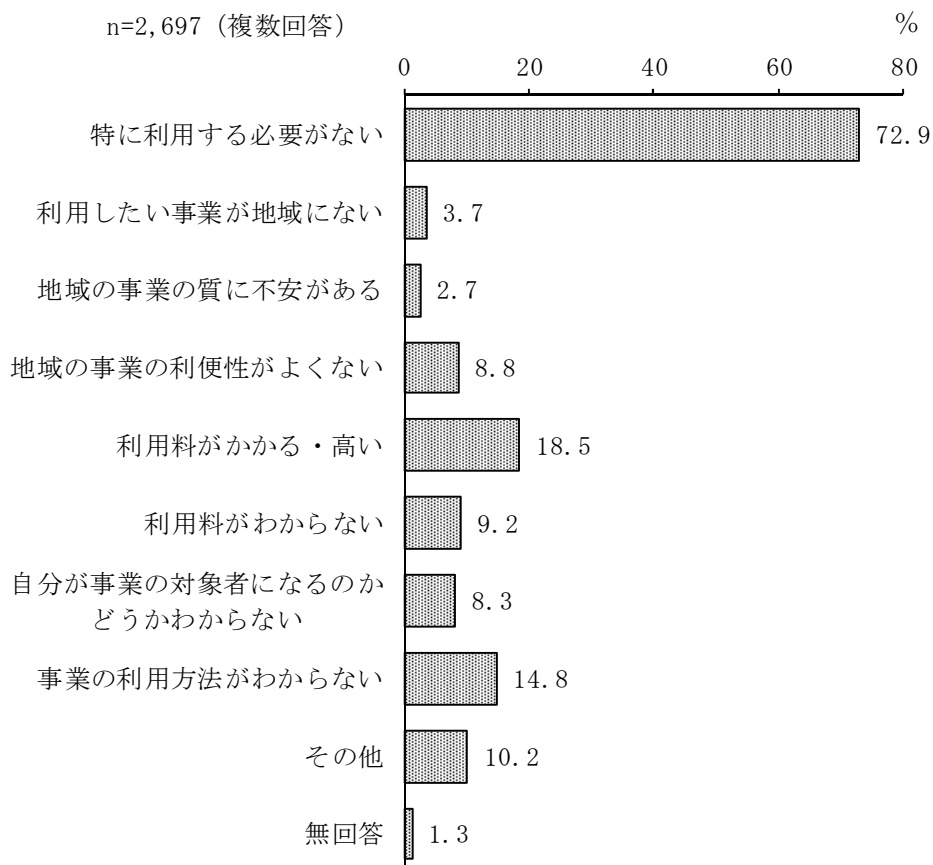
※ “トワイライトステイ (夜間養護等事業)” “ベビーシッター” “その他” は回答者数が少ないため、参考値となります。

(2) 不定期の教育・保育事業を利用していない理由

※問25で「7. 利用していない」に○をつけた方にうかがいました。

問25-1 現在利用していない理由は何ですか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が最も多く、72.9%となっています。次いで「利用料がかかる・高い」が18.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が14.8%と続いています。

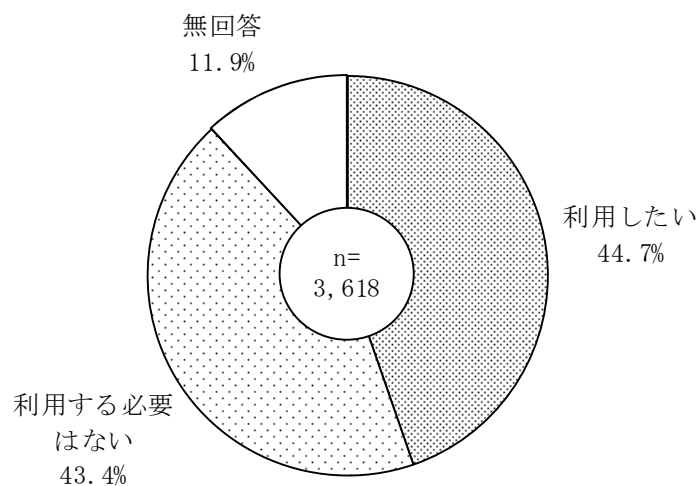


(3) 不特定の教育・保育事業の利用希望と日数

問 26 お子さんについて、私用、親の通院、不特定の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字で記入ください）。なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

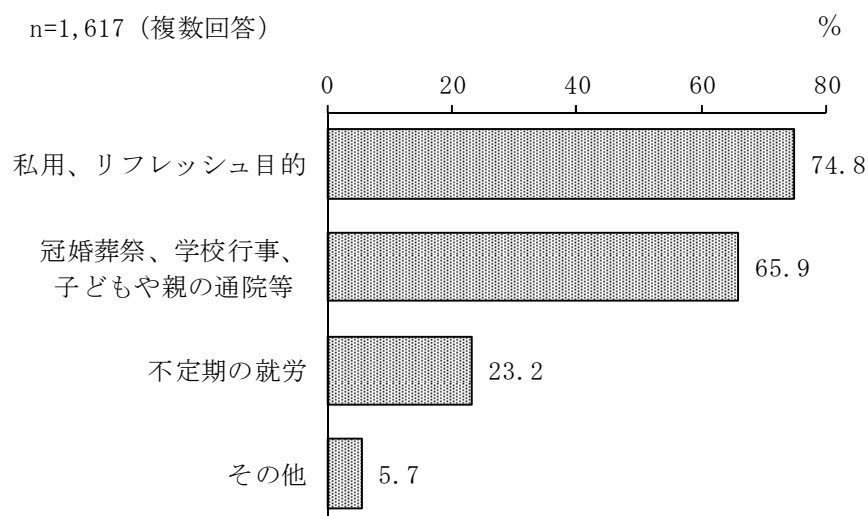
①利用希望

「利用したい」が44.7%、「利用する必要はない」が43.4%となっています。



②利用目的

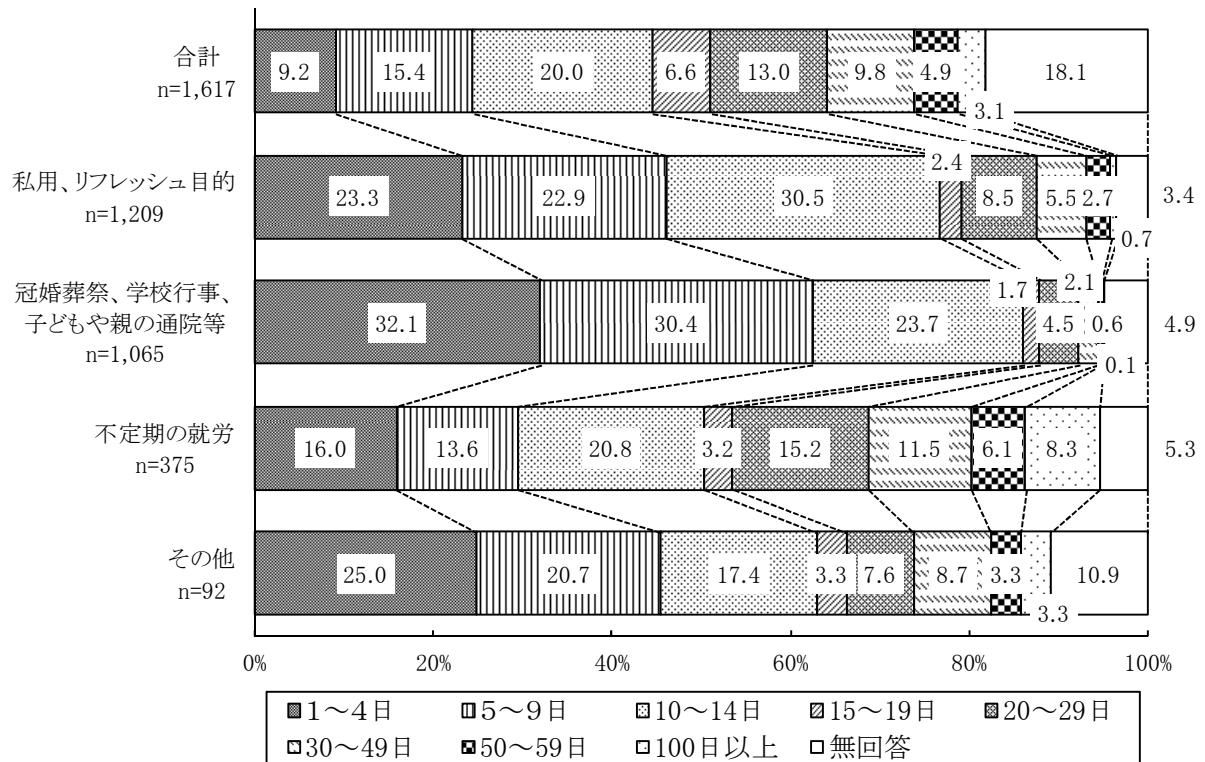
「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が最も多く、74.8%となっています。次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が65.9%、「不特定の就労」が23.2%と続いています。



③日数

“合計”は「10～14日」が最も多く、20.0%となっています。次いで「5～9日」が15.4%、「20～29日」が13.0%と続いています。

“私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的”“冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等”“不定期の就労”は、『15日未満』（「1～4日」「5～9日」「10～14日」を合わせた割合）が半数を超えており、特に“冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等”は86.2%と多くなっています。

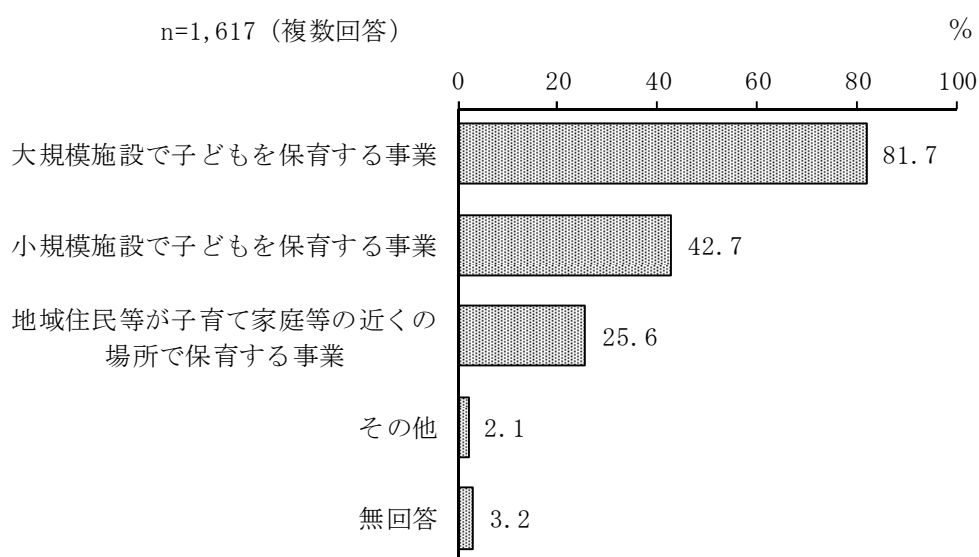


(4) 不定期の教育・保育事業の事業形態

※問26で「1. 利用したい」に○をつけた方にかがいました。

問 26-1 問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

「大規模施設で子どもを保育する事業」が最も多く、81.7%となっています。次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が42.7%、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が25.6%と続いています。

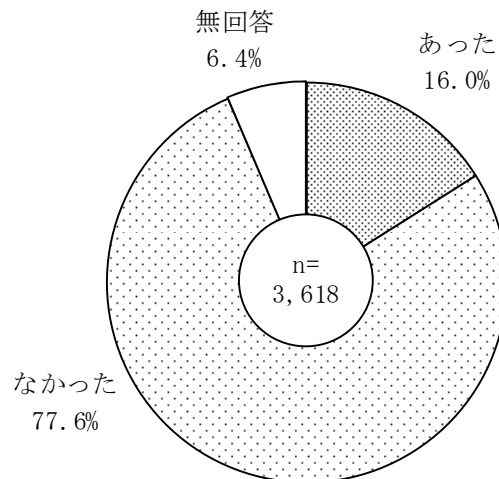


(5) 宿泊を伴う一時預かりの状況

問 27 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法として当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください。

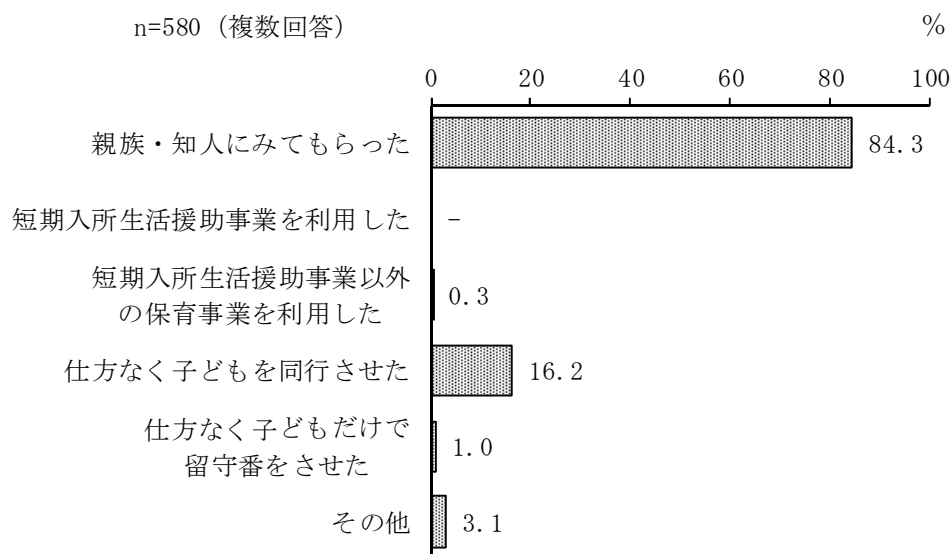
①一時預かりの有無

「あった」が16.0%、「なかった」が77.6%となっています。



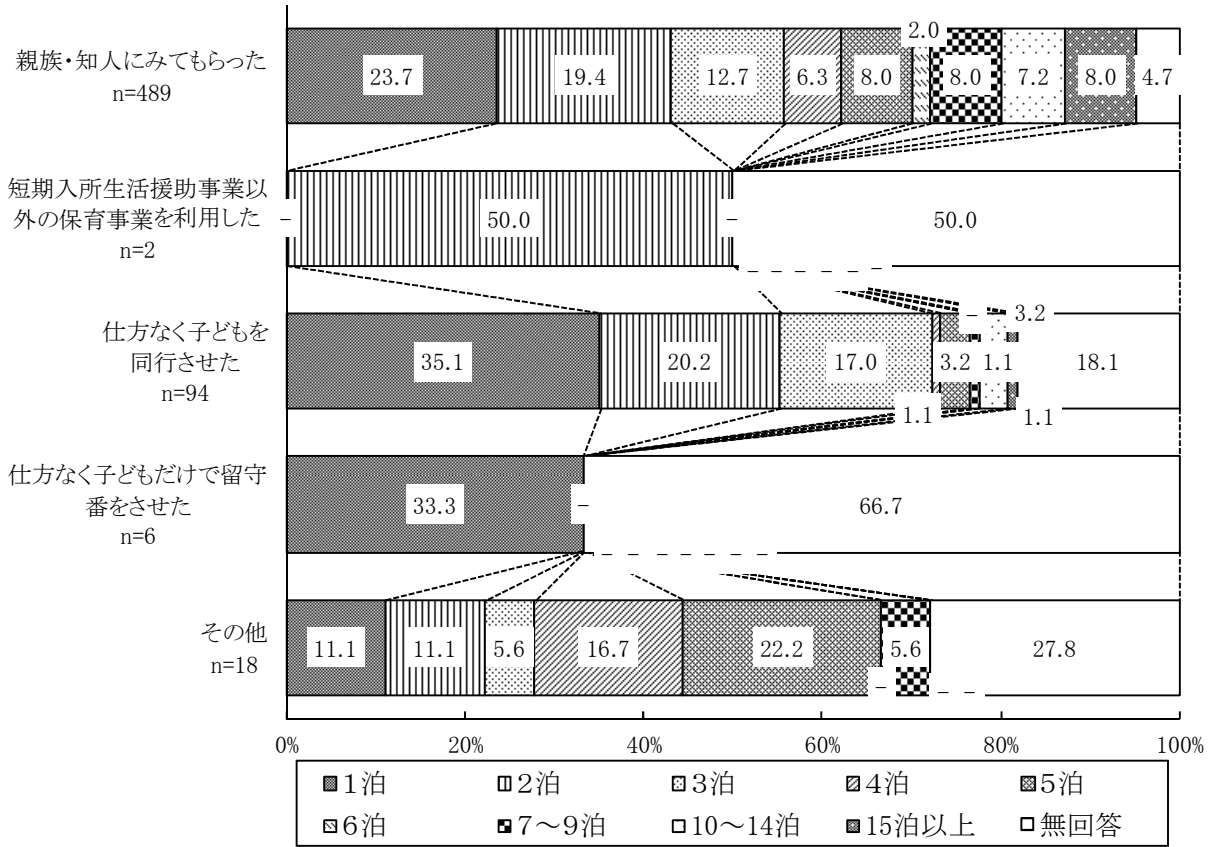
②対処方法

「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が最も多く、84.3%となっています。次いで「仕方なく子どもを同行させた」が16.2%と続いています。



③泊数

“（同居者を含む）親族・知人にみてもらった” “仕方なく子どもを同行させた” は『3泊以内』（「1泊」「2泊」「3泊」を合わせた割合）が半数を超えており、特に “仕方なく子どもを同行させた” は72.3%と多くなっています。



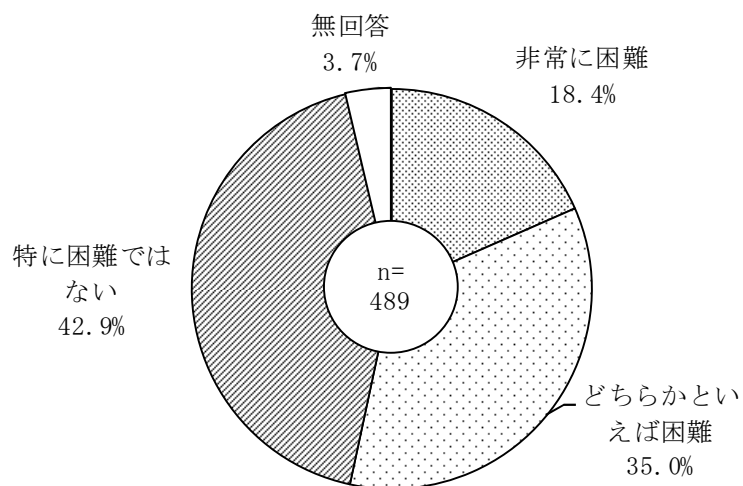
※ “短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した” “仕方なく子どもだけで留守番させた” は回答者が少ないため、参考値となります。

(6) 親族・知人に預ける困難さ

※問 25 で「1. あった」のうち「ア. (同居者を含む)親族・知人にみてもらった」に○をつけた方にうかがいました。

問 27-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

「特に困難ではない」が最も多く、42.9%となっています。次いで「どちらかといえば困難」が 35.0%、「非常に困難」が 18.4%と続いています。



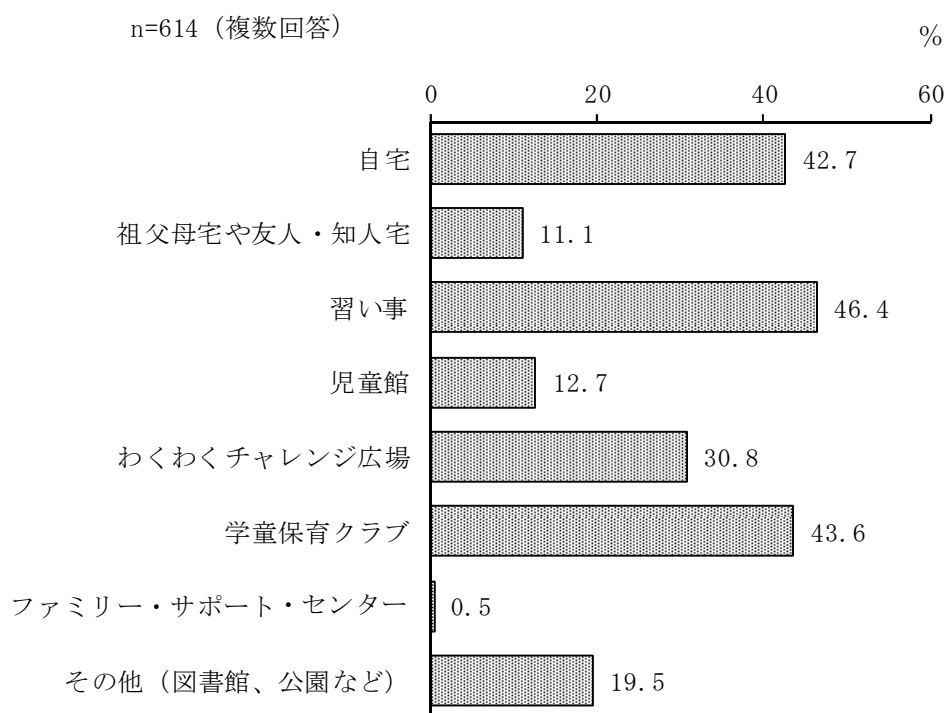
10. 小学校就学後の放課後の過ごし方について

(1) 小学校低学年のうちの放課後の過ごし方の希望

問 28 お子さんが、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合には、利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

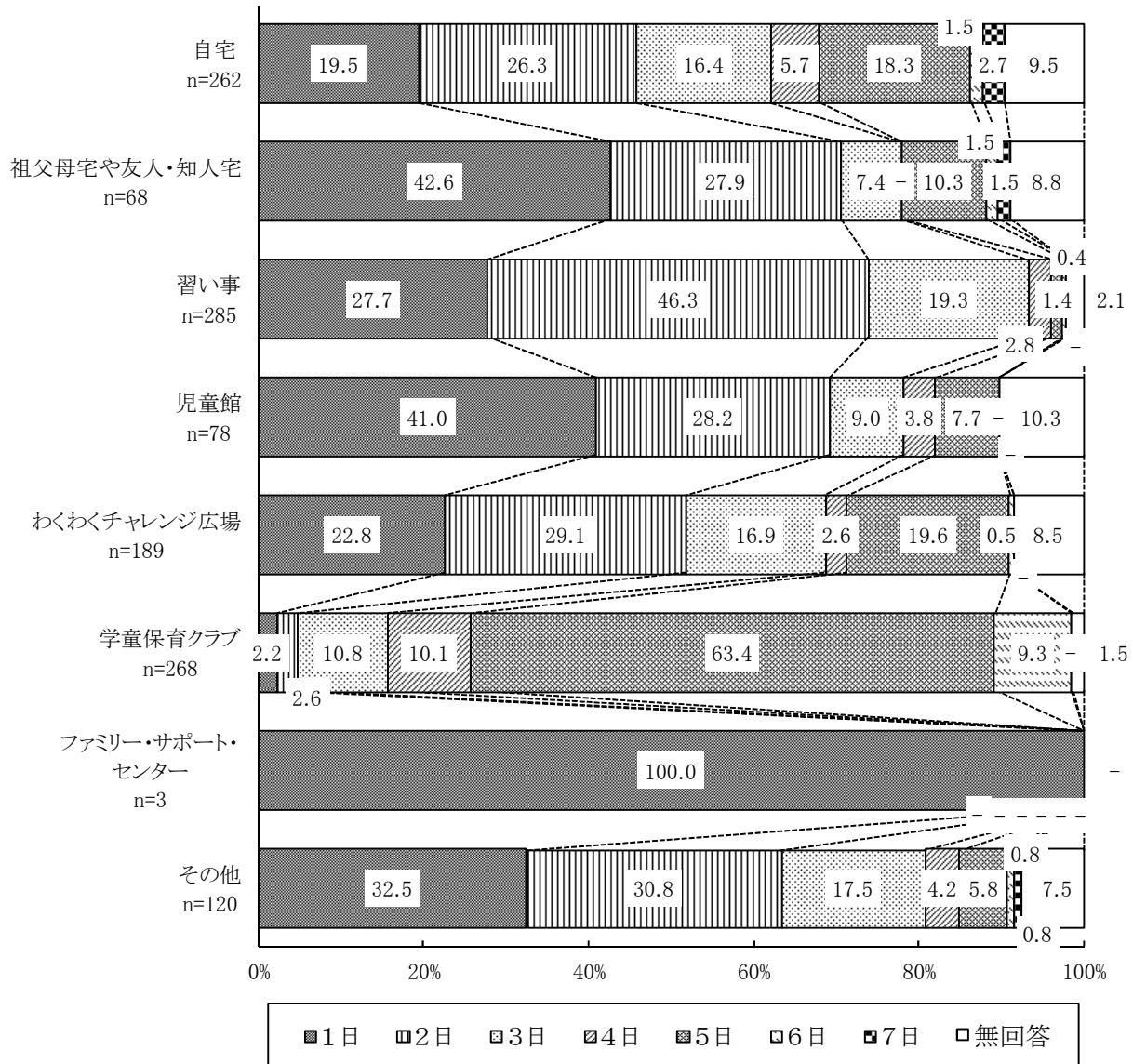
①希望する放課後の過ごし方

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、46.4%となっています。次いで「学童保育クラブ」が43.6%、「自宅」が42.7%、「わくわくチャレンジ広場（放課後子ども事業）」が30.8%、「児童館」が12.7%、「祖父母宅や友人・知人宅」が11.1%と続いています。



②1週当たりの日数

“自宅”“習い事”“わくわくチャレンジ広場”は、「2日」が最も多くなっており、特に“習い事”では46.3%と多くなっています。“祖父母宅や友人・知人宅”“児童館”は「1日」が最も多く、40%台となっており、「2日」が20%台と続いています。“学童保育クラブ”は「5日」が最も多く、63.4%となっています。

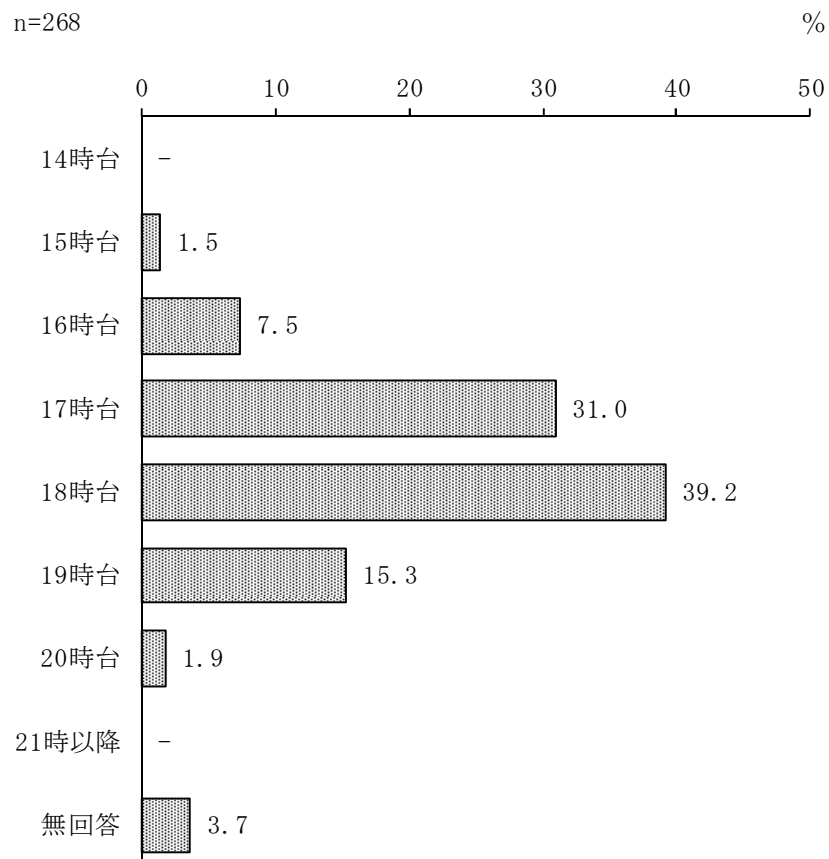


※“ファミリー・サポート・センター”は回答者数が少ないため、参考値となります。

③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「6. 学童保育クラブ」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、39.2%となっています。次いで「17時台」が31.0%、「19時台」が15.3%と続いています。

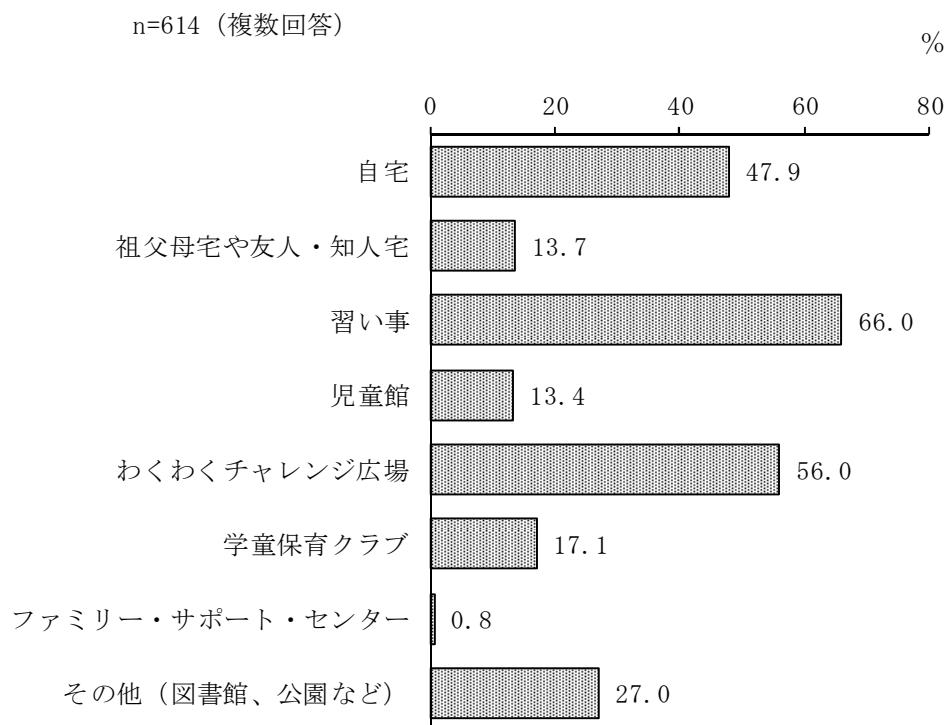


(2) 小学校高学年になってからの放課後の過ごし方の希望

問 29 お子さんが、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週あたり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育クラブ」の場合には利用を希望する時間も数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。
※だいたい先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

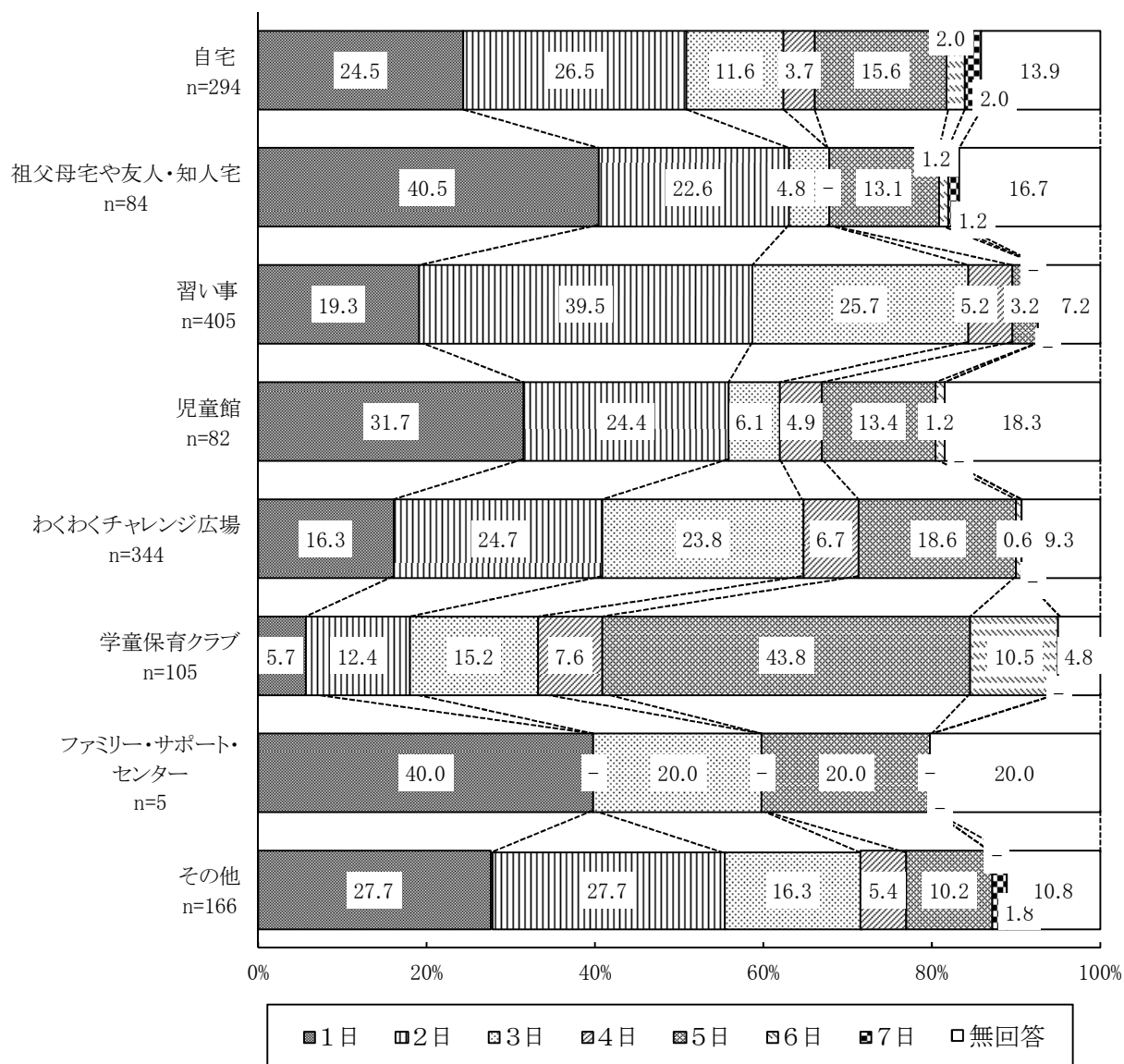
①希望する放課後の過ごし方

「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が最も多く、66.0%となっています。次いで「わくわくチャレンジ広場（放課後子ども教室）」が56.0%、「自宅」が47.9%、「学童保育クラブ」が17.1%、「祖父母宅や友人・知人宅」が13.7%、「児童館」が13.4%と続いています。



②1週当たりの日数

“自宅”“祖父母宅や友人・知人宅”“習い事”“児童館”は、『2日以内』（「1日」「2日」を合わせた割合）が半数を超えています。“わくわくチャレンジ広場”は「2日」が最も多く、24.7%となっており「3日」が24.4%、「5日」が18.6%と続いています。“学童保育”は「5日」が最も多く、43.8%となっており、「3日」が15.2%、「2日」が12.4%と続いています。

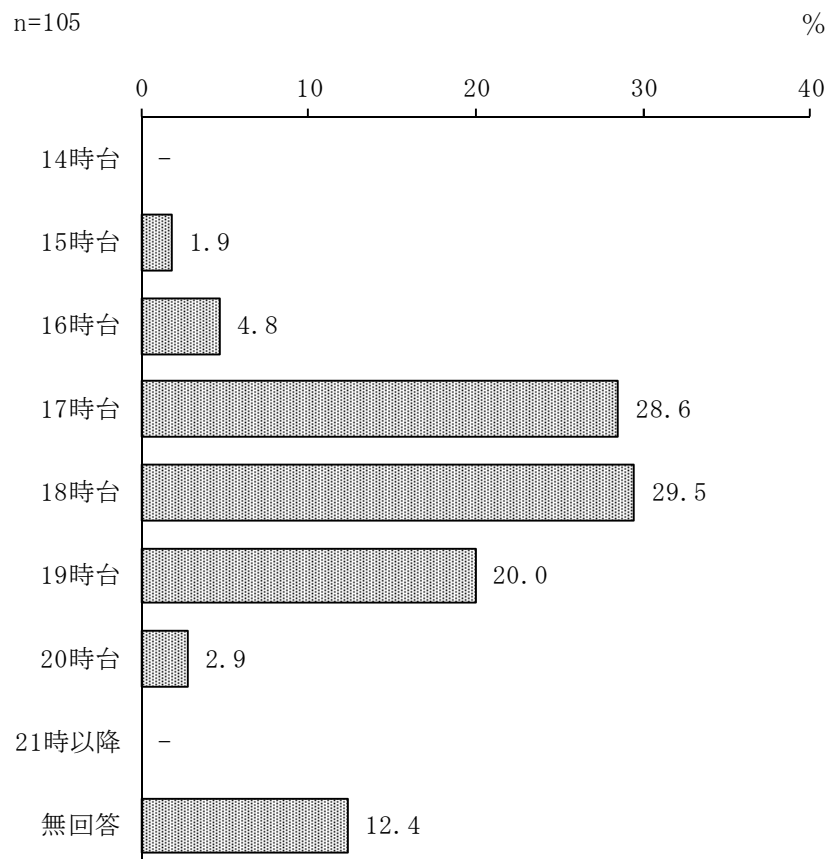


※ “ファミリー・サポート・センター” は回答者数が少ないため、参考値となります。

③学童保育を下校時間から何時まで利用したいか

※②で「6. 学童保育クラブ」に○をつけた方にうかがいました。

「18時台」が最も多く、29.5%となっています。次いで「17時台」が28.6%、「19時台」が20.0%と続いています。



(3) 土曜日と日曜日・祝日の学童保育の利用希望と利用時間

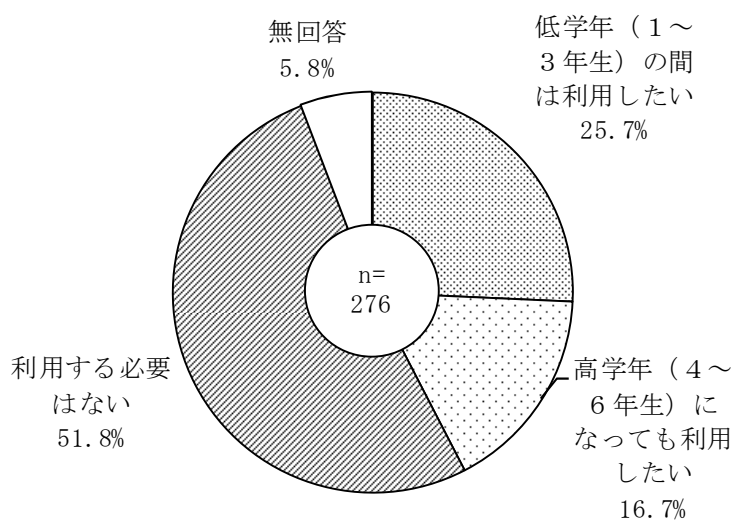
※問 28 または問 29 で「6. 学童保育クラブ」に○をつけた方にかがいました。

問 30 土曜日と日曜日・祝日に、学童保育クラブの利用希望はありますか。①土曜日、②日曜日それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また利用したい時間帯を、(例) 9 時～18 時のように 24 時間制でご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

①土曜日

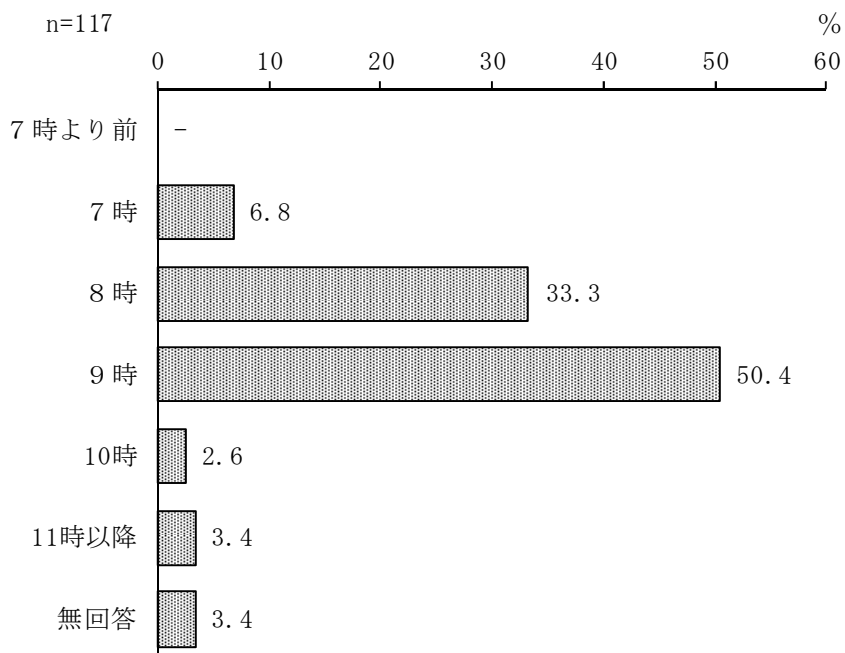
【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、51.8%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.7%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が16.7%と続いています。



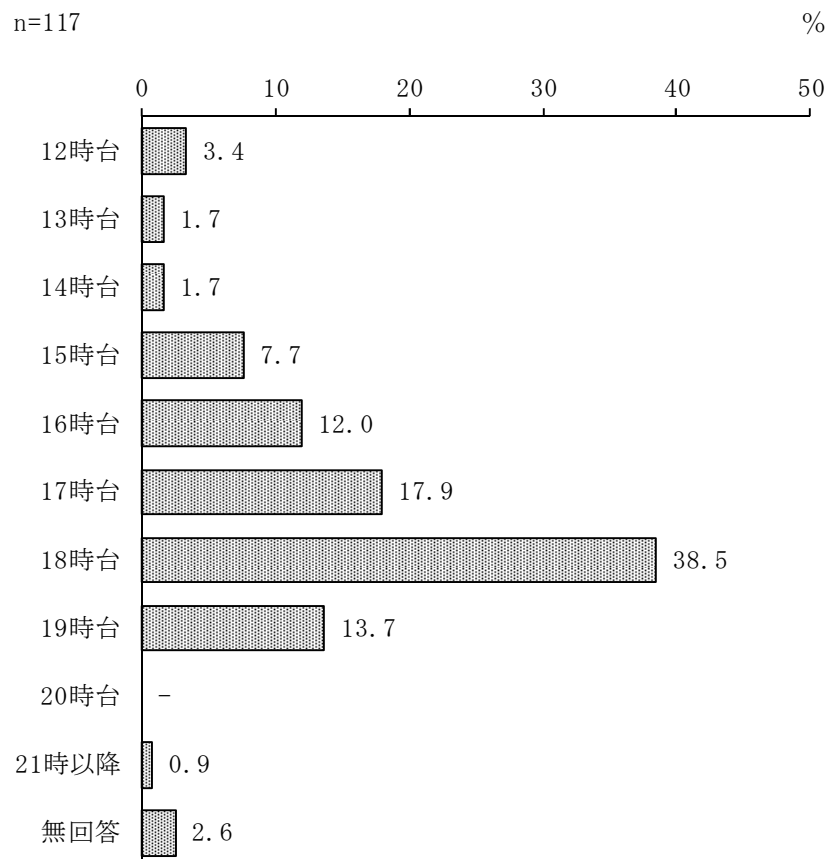
【利用開始時間】

「9時」が最も多く、50.4%となっています。次いで「8時」が33.3%と続いています。



【利用終了時間】

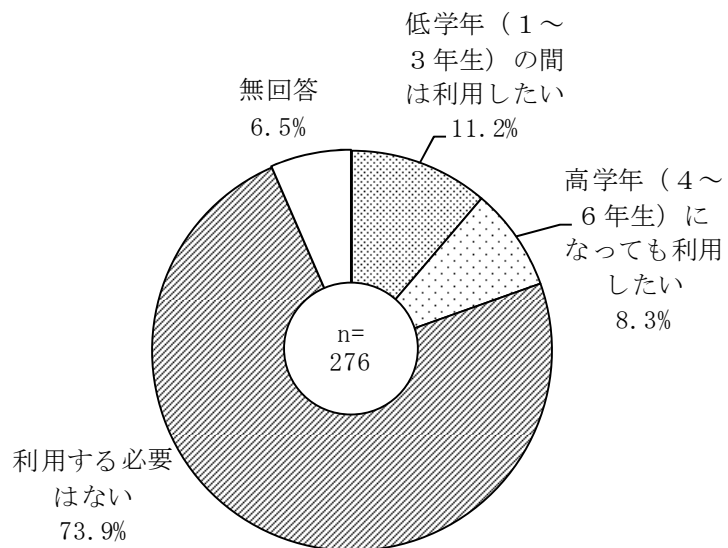
「18時台」が最も多く、38.5%となっています。次いで「17時台」が17.9%、「19時台」が13.7%、「16時台」が12.0%と続いています。



②日曜日

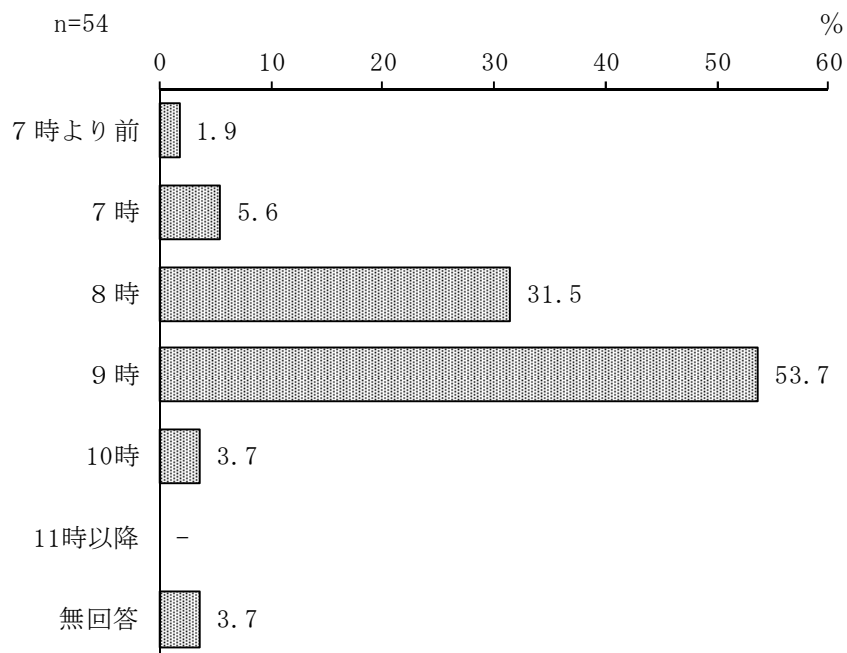
【利用希望】

「利用する必要はない」が最も多く、73.9%となっています。次いで「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が11.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.3%と続いています。



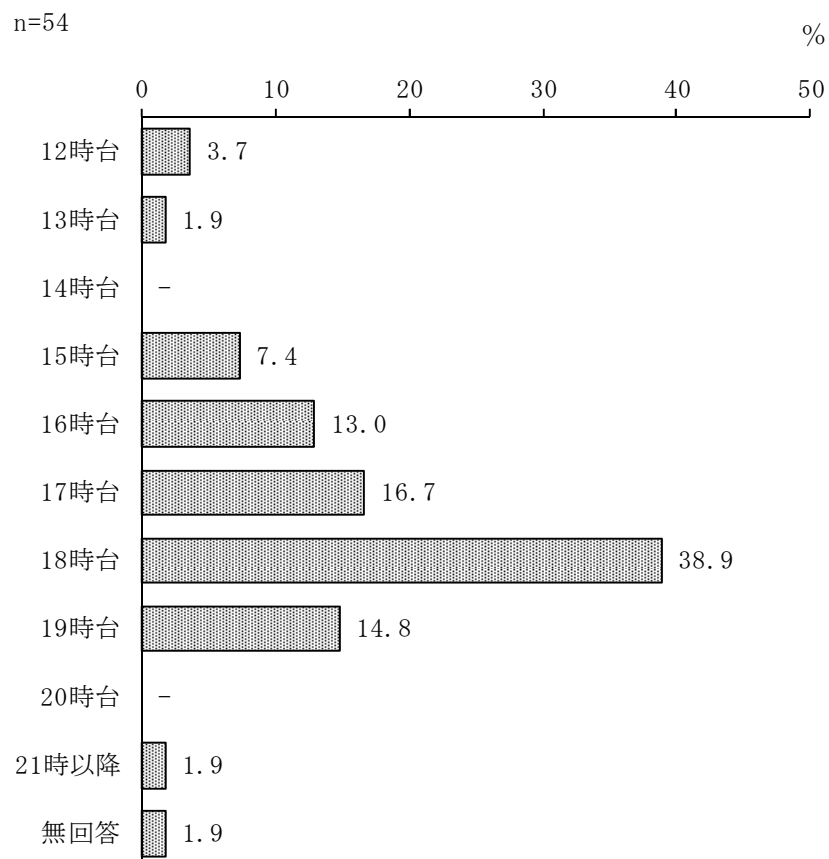
【利用開始時間】

「9時」が最も多く、53.7%となっています。次いで「8時」が31.5%と続いています。



【利用終了時間】

「18時台」が最も多く、38.9%となっています。次いで「17時台」が16.7%、「19時台」が14.8%、「16時台」が13.0%と続いています。

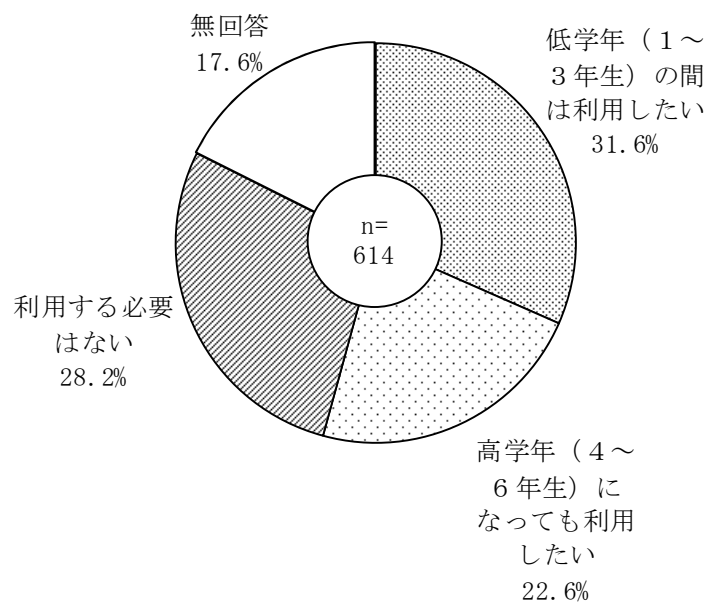


(4) 長期休暇中の学童保育の利用希望

問31 お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育クラブの利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、(例) 9時～18時のように24時間制でご記入ください。

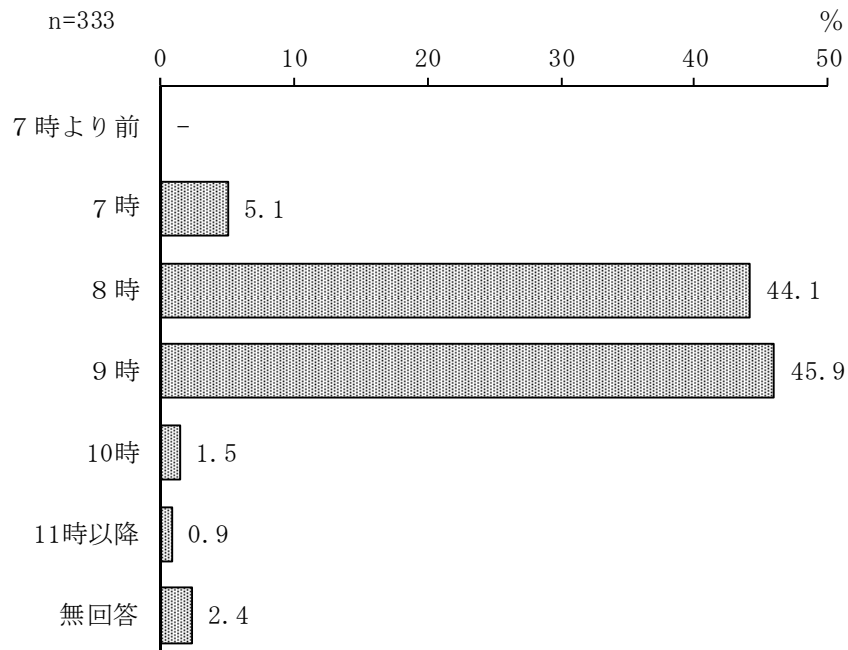
【利用希望】

「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が最も多く、31.6%となっています。次いで「利用する必要はない」が28.2%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が22.6%と続いています。



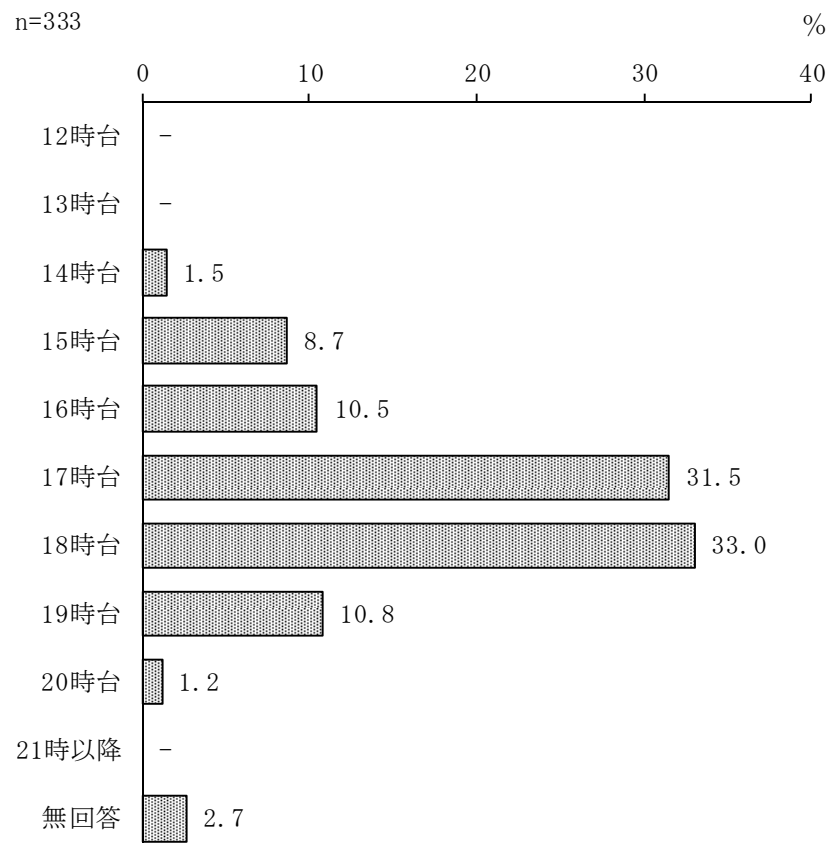
【利用開始時間】

「9時」が最も多く、45.9%となっています。次いで「8時」が44.1%と続いています。



【利用終了時間】

「18時台」が最も多く、33.0%となっています。次いで「17時台」が31.5%、「19時台」が10.8%、「16時台」が10.5%と続いています。



11. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

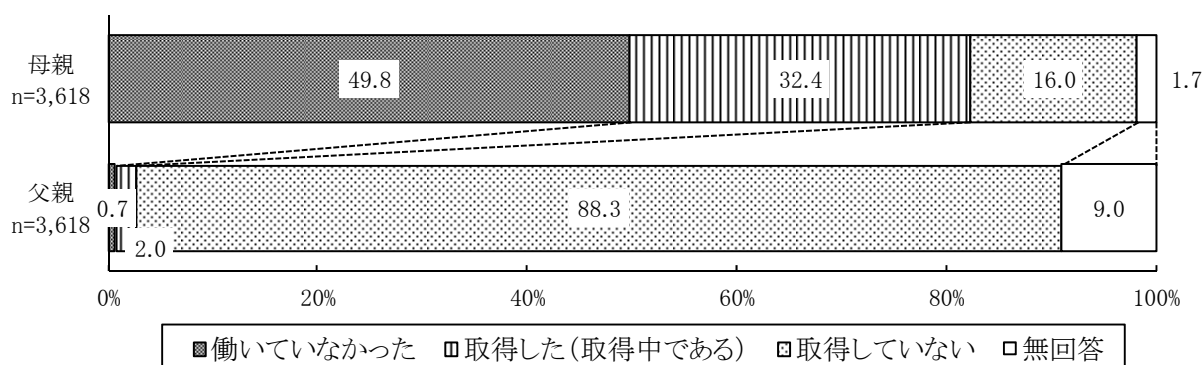
(1) 育児休業の取得状況・取得していない理由

問 32 お子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また、取得していない方はその理由について、該当する数字をご記入ください。

①取得状況

母親では「働いていなかった」が最も多く、49.8%となっています。次いで「取得した（取得中である）」が32.4%、「取得していない」が16.0%と続いています。

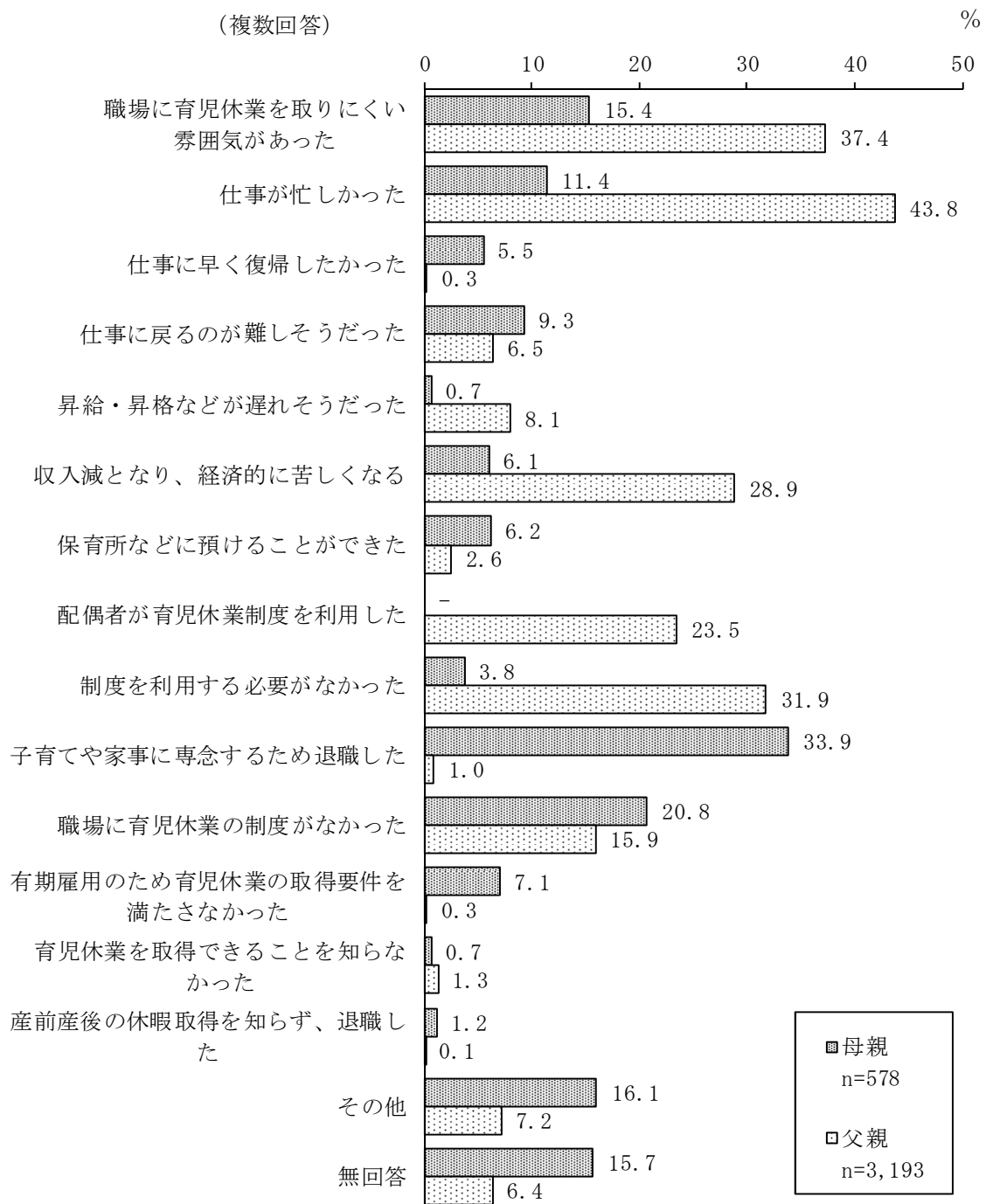
父親では「取得していない」が最も多く、88.3%となっています。



②取得していない理由

母親では「子育てや家事に専念するため退職した」が最も多く、33.9%となっています。次いで「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が20.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が15.4%、「仕事が忙しかった」が11.4%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が9.3%と続いています。

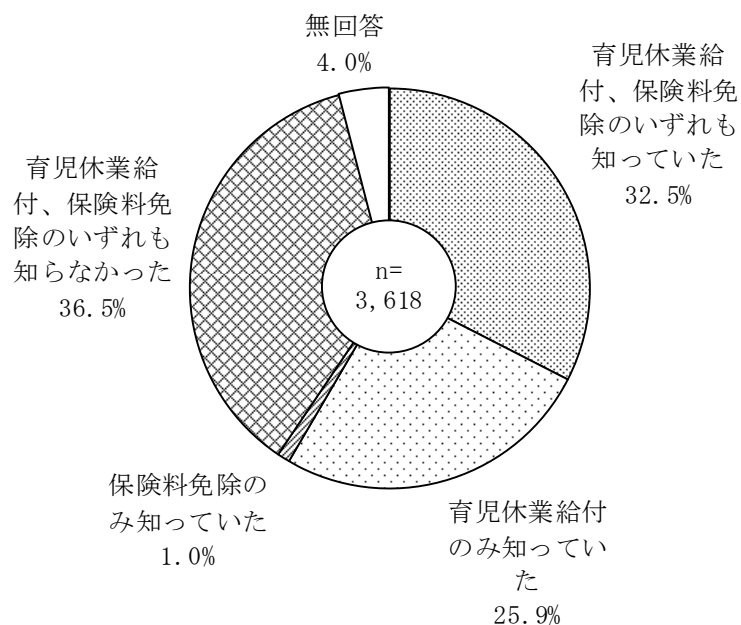
父親では「仕事が忙しかった」が最も多く、43.8%となっています。次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が37.4%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった」が31.9%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が28.9%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が23.5%、「職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）」が15.9%と続いています。



(2) 育児休業給付・保育料免除の認知状況

問 32-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が最も多く、36.5%となっています。次いで「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が32.5%、「育児休業給付のみ知っていた」が25.9%、「保険料免除のみ知っていた」が1.0%と続いています。



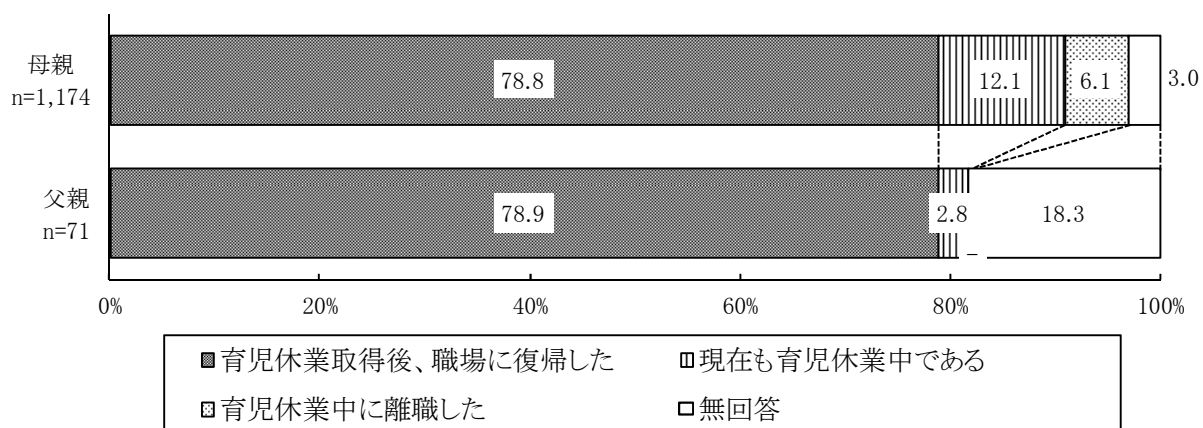
(3) 育児休業取得後の職場復帰

※問 32 で「2. 取得した (取得中である)」に○をつけた方にかがいました。

問 32-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

母親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、78.8%となっています。次いで「現在も育児休業中である」が12.1%、「育児休業中に離職した」が6.1%と続いています。

父親では「育児休業取得後、職場に復帰した」が最も多く、78.9%となっています。次いで「現在も育児休業中である」が2.8%と続いています。



(4) 職場復帰の時期

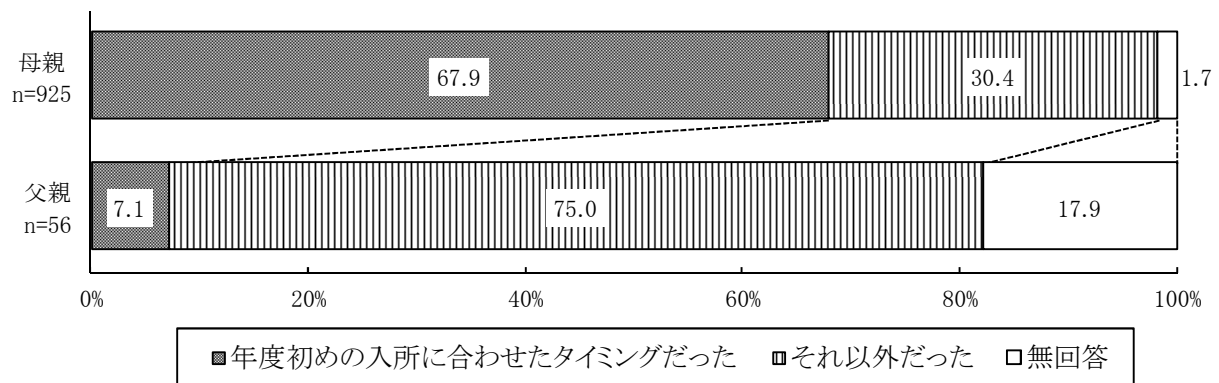
※問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問 32-3 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」を選択してください。

母親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が67.9%、「それ以外」が30.4%となっています。

父親では「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」が7.1%、「それ以外」が75.0%となっています。



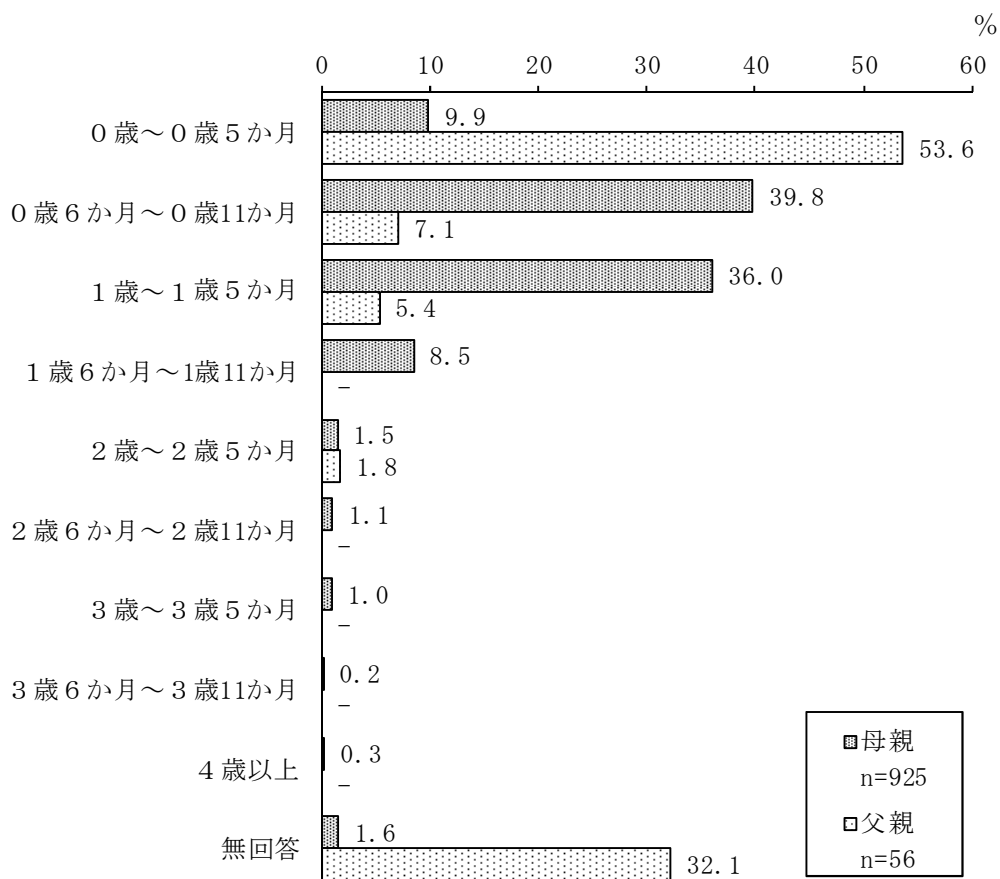
(5) 職場復帰時の子どもの年齢と希望時期

問 32-4 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

①職場復帰時の子どもの年齢

母親では「0歳6か月～0歳11か月」が最も多く、39.8%となっています。次いで「1歳～1歳5か月」が36.0%、「0歳～0歳5か月」が9.9%、「1歳6か月～1歳11か月」が8.5%と続いています。

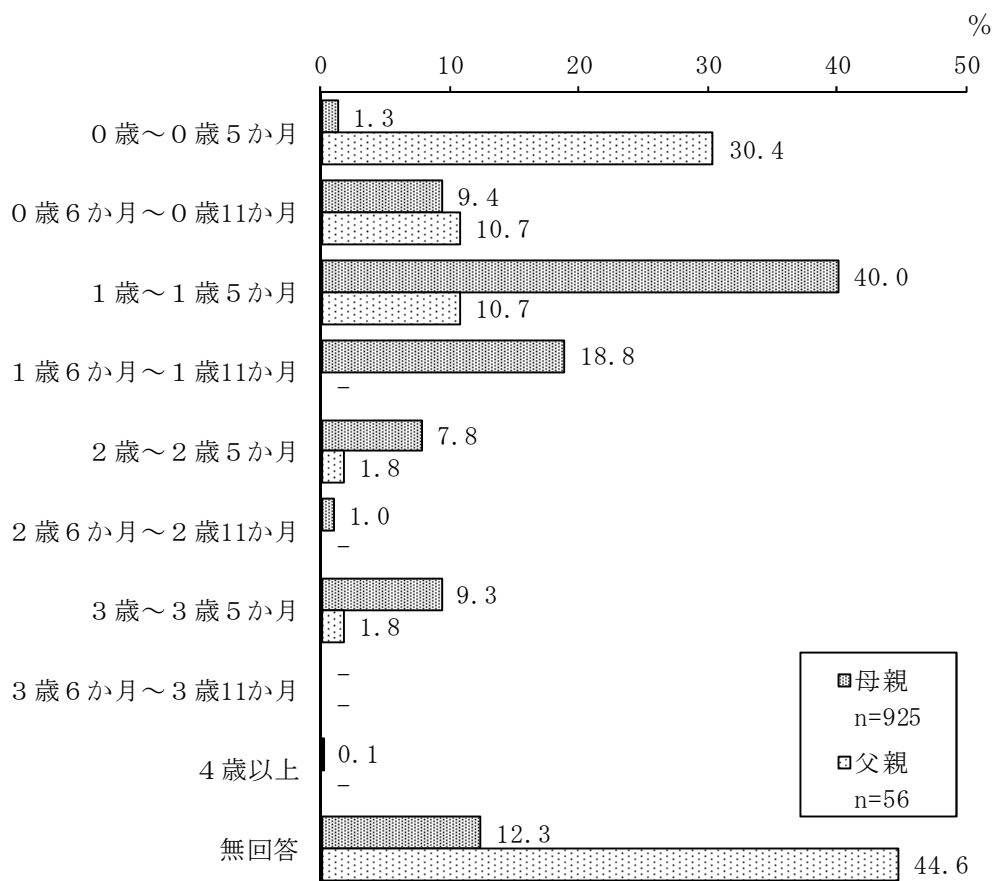
父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、53.6%となっています。次いで「0歳6か月～0歳11か月」が7.1%、「1歳～1歳5か月」が5.4%と続いています。



②希望時期

母親では「1歳～1歳5か月」が最も多く、40.0%となっています。次いで「1歳6か月～1歳11か月」が18.8%、「0歳6か月～0歳11か月」が9.4%、「3歳～3歳5か月」が9.3%と続いています。

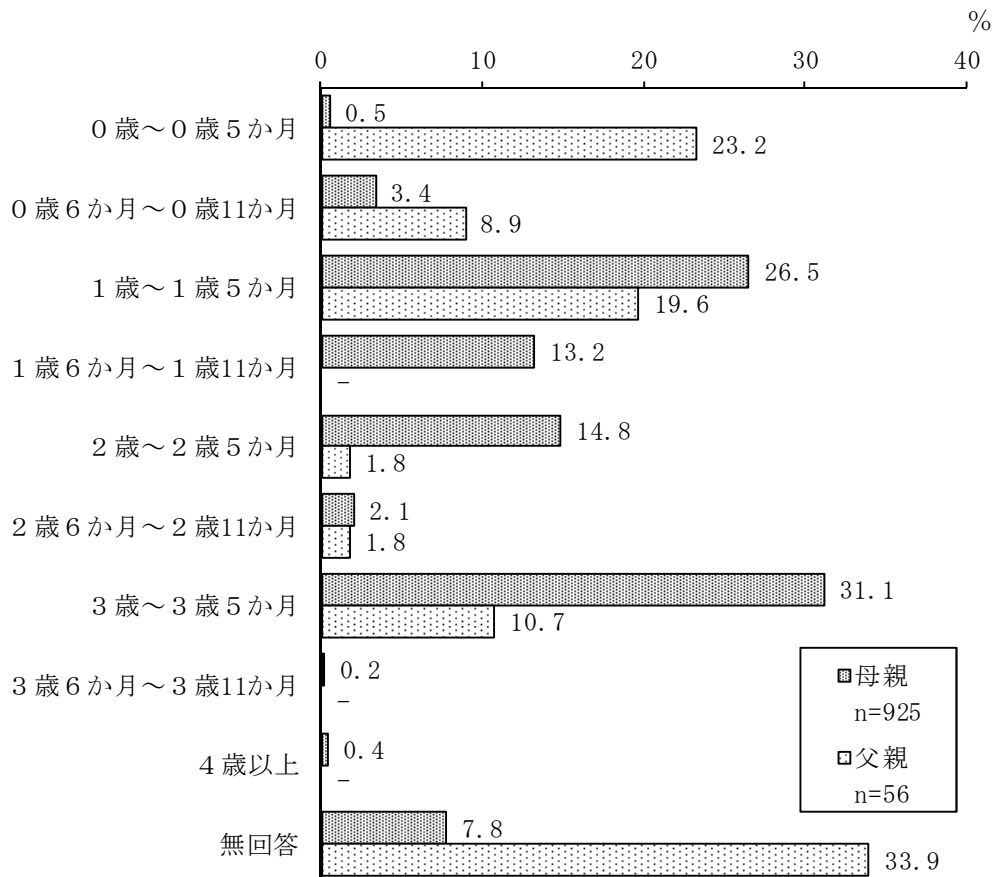
父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、30.4%となっています。次いで「0歳6か月～0歳11か月」と「1歳～1歳5か月」が10.7%と続いています。



(6) 3歳まで休暇を取得できる制度があった場合の職場復帰の希望時期

問 32-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。数字でご記入ください。

母親では「3歳～3歳5か月」が最も多く、31.1%となっています。次いで「1歳～1歳5か月」が26.5%、「2歳～2歳5か月」が14.8%、「1歳6か月～1歳11か月」が13.2%と続いています。
 父親では「0歳～0歳5か月」が最も多く、23.2%となっています。次いで「1歳～1歳5か月」が19.6%、「3歳～3歳5か月」が10.7%、「0歳6か月～0歳11か月」が8.9%と続いています。



(7) 希望の時期に職場復帰できなかった理由

※問 32-4 で実際の復帰と希望が異なる方にかがいました。

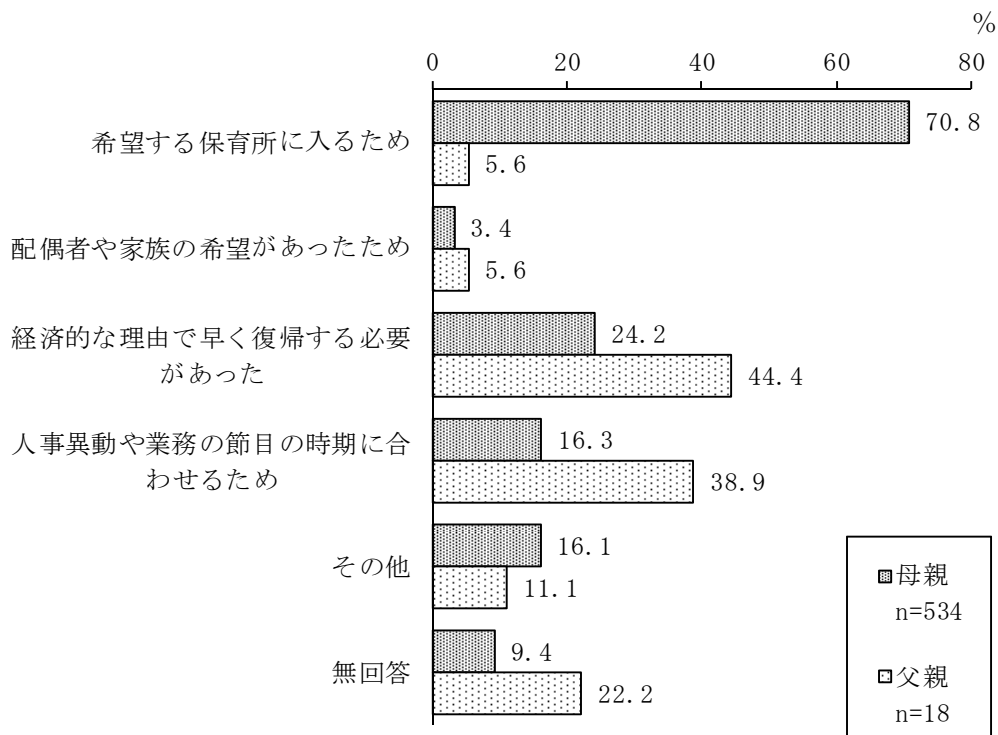
問 32-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

①希望より早く復帰した方

母親では「希望する保育所に入るため」が最も多く、70.8%となっています。次いで「経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった」が24.2%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が16.3%、「配偶者や家族の希望があったため」が3.4%と続いています。

父親では「経済的な理由で早く復帰する必要があるがあった」が最も多く、44.4%（18人中8人）となっています。次いで「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が38.9%（18人中7人）と続いています。

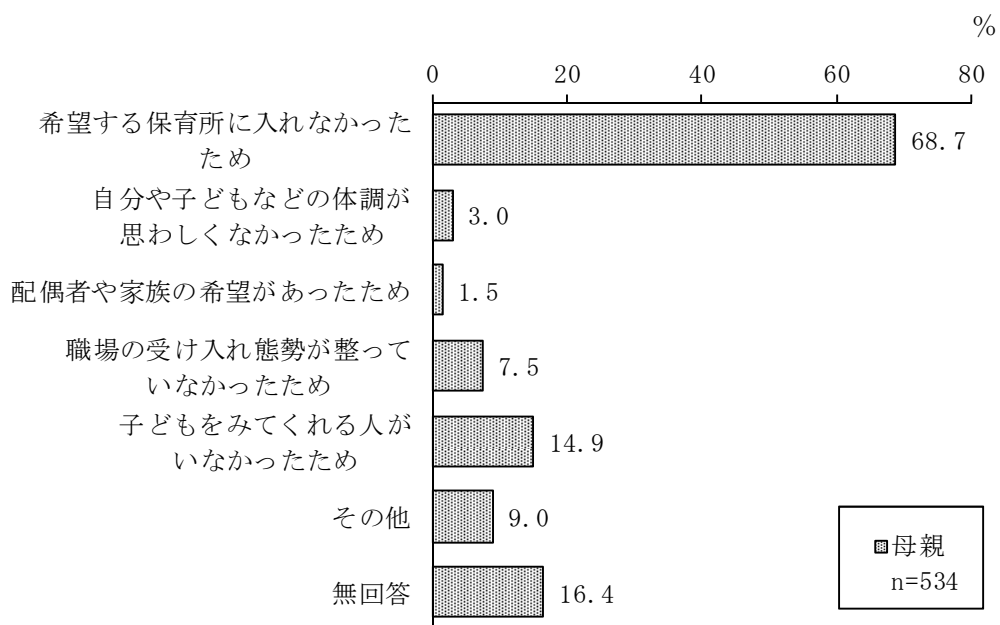
※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



②希望より遅く復帰した方

母親では「希望する保育所に入れなかったため」が最も多く、68.7%となっています。次いで「子どもをみてる人がいなかったため」が14.9%、「職場の受け入れ態勢が整ってなかったため」が7.5%と続いています。

※父親は、回答対象者がいませんでした。



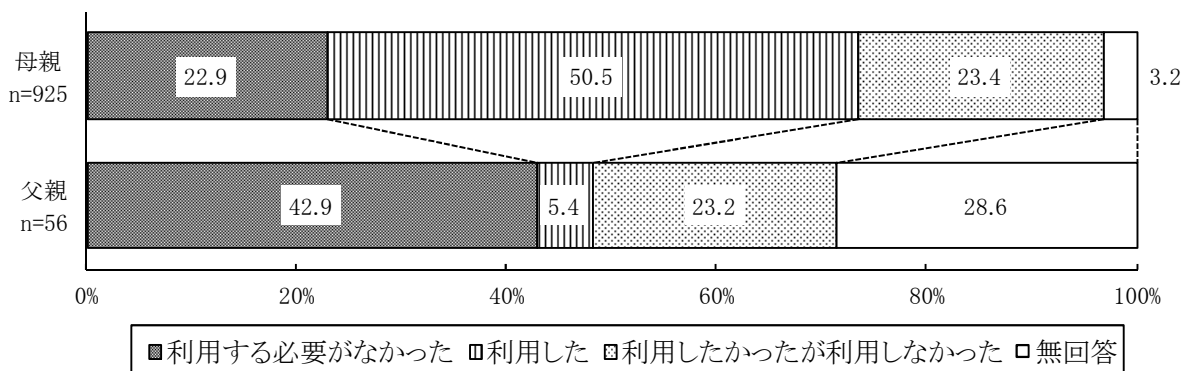
(8) 短時間勤務制度の利用の有無

※問 32-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」に○をつけた方にうかがいました。

問 32-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「利用した」が最も多く、50.5%となっています。次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.4%、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が22.9%と続いています。

父親では「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が最も多く、42.9%となっています。次いで「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が23.2%、「利用した」が5.4%と続いています。



(9) 短時間勤務制度を利用できなかった理由

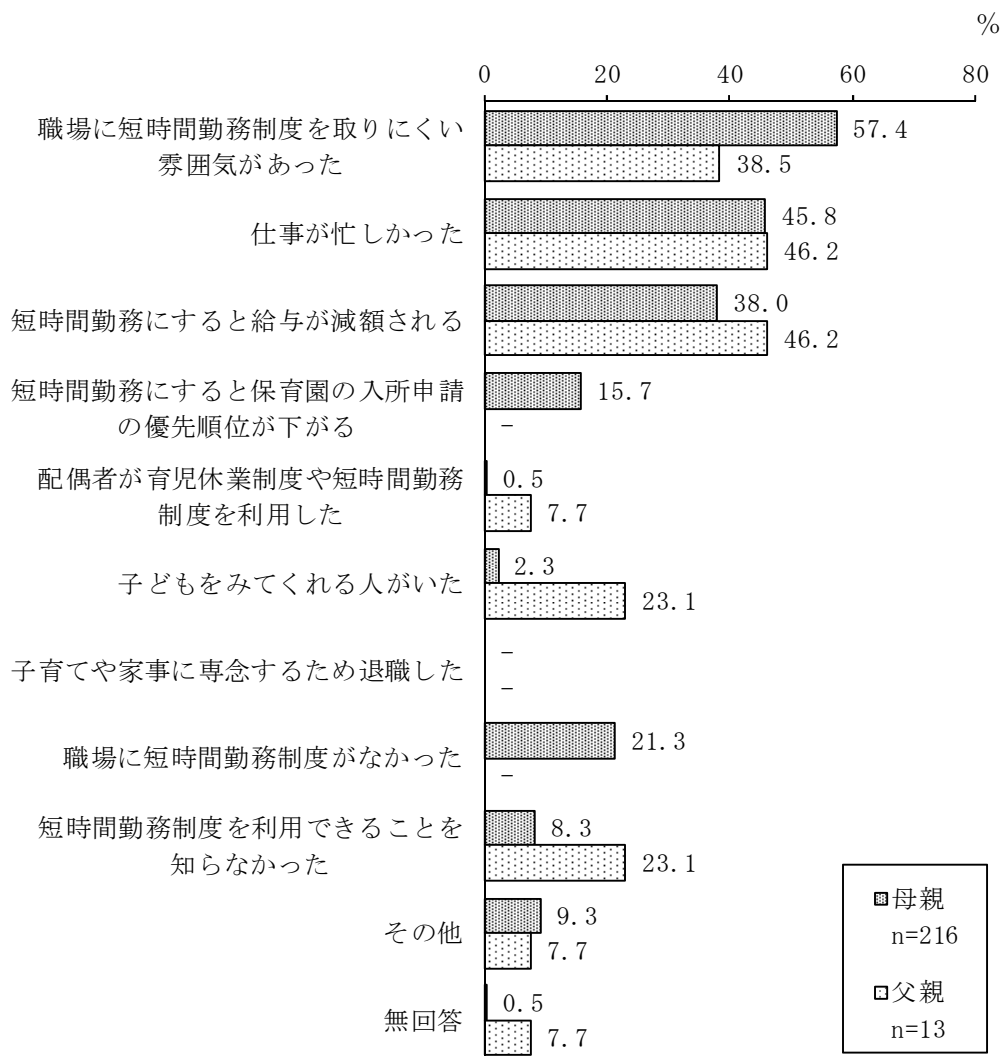
※問 32-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった (利用できなかった)」に○をつけた方にかがいました。

問 32-8 短時間勤務制度を利用しなかった (利用できなかった) 理由は何ですか。当てはまる理由をすべてに○をつけてください。

母親では「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が最も多く、57.4%となっています。次いで「仕事が忙しかった」が45.8%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が38.0%、「職場に短時間勤務制度がなかった (就業規則に定めがなかった)」が21.3%、「短時間勤務にすると保育園の入所申請の優先順位が下がる」が15.7%と続いています。

父親では「仕事が忙しかった」と「短時間勤務にすると給与が減額される」が最も多く、46.2% (13人中6人) となっています。次いで「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が38.5% (13人中5人)、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、子どもをみてくれる人がいた」と「短時間勤務制度を利用できることを知らなかった」が23.1% (13人中3人) と続いています。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



(10) 必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したか

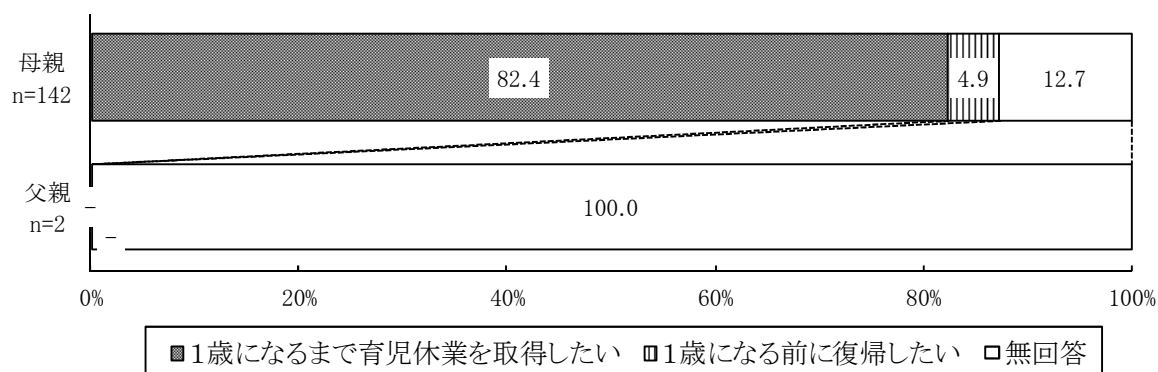
※問 32-2 で「2. 現在も育児休業中である」に○をつけた方にうかがいました。

問 32-9 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親では「1歳になるまで育児休業を取得したい」が82.4%、「1歳になる前に復帰したい」が4.9%となっています。

父親では「無回答」が100%（2人中2人）でした。

※父親の結果については、回答者が少数であり、参考値と位置づける必要があります。



12. 子育て支援策に関する満足度

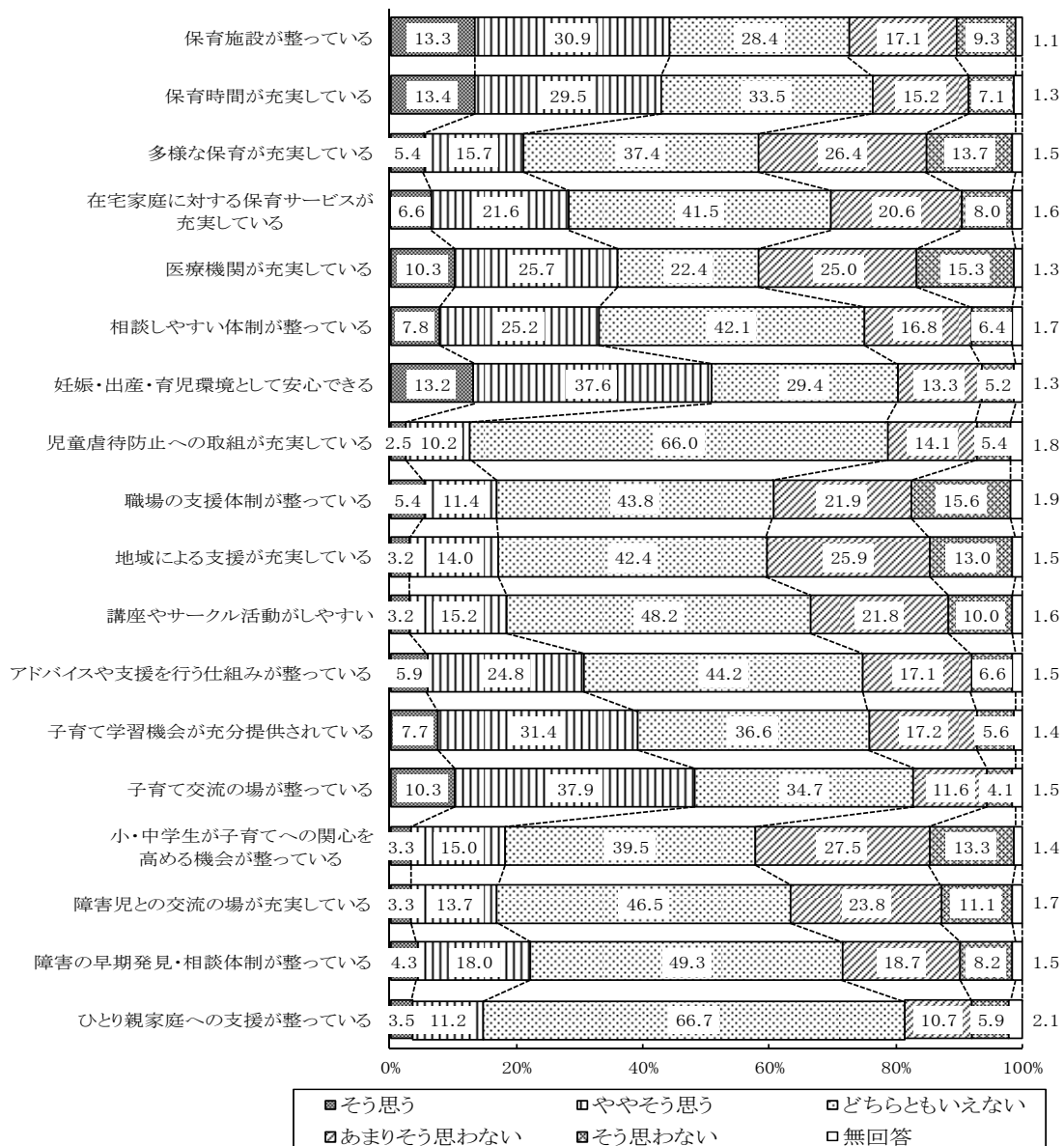
(1) 葛飾区の子育て支援施策に対する満足度

問 33 葛飾区の子育てに関する施策や事業等についてどのように感じになりますか。1から5のいずれか1つに○をつけてください。

「どちらともいえない」が最も多い傾向があります。

『そう思う』（「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合）が『そう思わない』（「あまりそう思わない」「ややそう思わない」を合わせた割合）を上回っている項目としては、“子育て交流の場が整っている”“子育て学習機会が充分提供されている”“妊娠・出産・育児環境として安心できる”“保育時間が充実している”“保育施設が整っている”が挙げられます。

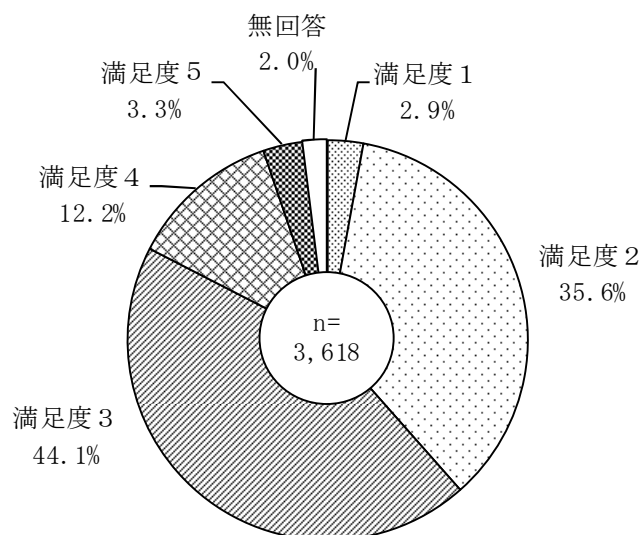
一方、『そう思わない』（「あまりそう思わない」「ややそう思わない」を合わせた割合）が『そう思う』（「そう思う」「ややそう思う」を合わせた割合）を上回っている項目としては、“小・中学生が子育てへの関心を高める機会が整っている”“医療機関が充実している”“多様な保育が充実している”が挙げられます。



(2) 葛飾区の子育て環境に対する総合的な満足度

問 34 安心して子育てができる環境について、葛飾区を総合的にどのように評価しますか。

「満足度3」が最も多く、44.1%となっています。次いで「満足度2」が35.6%、「満足度4」が12.2%と続いています。



13. 自由意見

(1) 自由意見

子育て支援に関するご意見、ご要望をご自由にご記入ください。

①回答結果

全回答数	3,618 件	(100.0%)
「良いこと、嬉しいこと、楽しいこと」記入数	1,795 件	49.6%
「不満なこと、困っていること」記入数	2,064 件	57.0%
「その他、ご意見やご要望など」記入数	1,507 件	41.7%

②主な回答内容

【良いこと、嬉しいこと、楽しいこと】

《幼児教育について》

- ・幼稚園、保育園など、施設がたくさんあって充実していて良いと思います。
- ・幼稚園に子どもを通園させております。2人の子どもを通園させ、今年次男が卒園の年を迎えております。園生活にとっても満足し、安心したのべ7年間を過ごす事が出来ております。園長を含め子育ての悩みを相談して小さな事にも真剣に答えて下さり、感謝する日々を送っております。

《保育について》

- ・保育園の選択肢が多く、充実している。保育園も多く、他区に比べると入園しやすいようだ。
- ・子供が3人いますが、運良く全員希望時期に入園出来ました。2人目は予約入園のおかげです。他の自治体の友人にこの制度の事を話すと、非常にうらやましがられます。本当に良い制度だと思います。出来れば全国での実施もしくは枠を広げてもらいたいです。医療費免除や自転車購入の補助など本当に子育てしていて助かります。江戸川区よりよっぽど充実した制度があると思うので、もっともっと「子育てしやすい町」を全国にPRしたら良いと思います。
- ・現在通っている保育園は先生方が皆さんすばらしい方達で、遠方に住む親に代わって相談も聞いて頂き大変助かっています。
- ・上の娘が通っている保育園(四つ木保育園です)は先生方がとても熱心であたたかく、いつも優しく声をかけて下さいます。一緒に送りむかえしている下の娘も慣れて、毎日楽しんでいるようです。
- ・子育て支援センター(けやき)で育休中はとてもお世話になりました。土曜日に一人で子供をみていたので、開所していてとても助かった。保育園開所時間も長く、対応も良いのでとても助けられています。

《学童保育クラブについて》

- ・現在通っている保育園、学童クラブの先生がとても良いので安心してます（総合的に）。
- ・自分の住む地域はわりと保育所、学童クラブに入りやすいように感じる。古い公園の遊具が新しくなっていること。安心して、子供を楽しく遊ばせられる。
- ・保育所が家の近くに2件。学童もありとても助かっている。公園が多い。色々な区の事業があり、楽しそうな物が多い。育児の相談窓口もあり安心。

《乳幼児家庭全戸訪問について》

- ・乳幼児の健診時に、保健センターで職員の人と話をすることがあること。赤ちゃん訪問事業では、出生の浅い日に、赤ちゃんの様子や母親の状態等をみてくれること。家庭を実際に訪問しているので、家庭環境や、本人の雰囲気を感じ取って、問題があればその後につなげてくれる気がする。
- ・産後すぐ、助産師さんが家庭を訪問してくれて、悩みを相談でき救われた。ブックスタートで絵本がもらえ、子どもが喜ぶ。保育所(認可)の先生が良い。子育て支援課の窓口の方が親切。妊婦健診の無料券が助かった。
- ・子どもの生後間もなく、保健センターから保健師さんが訪問してくれた。じっくり話を聞いてくれ、とても嬉しかった。

《地域子育て支援拠点について》

- ・子育てひろば(けやき)がとてもいい。職員さんの声かけなどにはげまされる。「けやきっこ」が人気すぎて利用するのが少々大変。予約がとりにくい。医療費がかからないことがとても助かる。
- ・支援センター「けやき」には大変お世話になっています。本当に先生方や、その場所も大好きです。たくさんのイベントに参加したり、育児について相談できたりと、ここがなかったらと思うと…育児ノイローゼになってたかとも思います。もっと、「けやき」のような場所がたくさん増えるとお母さん方には、心やすらぐのではと思います。

《子育て援助活動支援について》

- ・赤ちゃん子育ての会があるので、ママ友達をつくることができ、よかった。共に、子育てする仲間ができ、1人で悩むことなく子育てができています。
- ・育児相談、育児グループはとても良いと思うので、もう少し機会を増やしてほしい。

《妊婦健診について》

- ・検診に行っていないと連絡を頂けることはすばらしいと思いました。
- ・妊娠中の定期検診の負担が少なく、区によって違いがあり、出産中に知りうれしかった。
- ・近くに水元公園があるのはいいと思う（自然が多く、体を動かす場所が多い）。子供がまだ小さかった頃、乳幼児訪問で母乳の相談ができたのは、とても良かった。妊婦健診の費用を一部負担して頂いたのは、とても助かった。

《その他》

- ・2ヵ月児の会があり、同じ月齢のママ達と知り合う事が出来、とても良いと思う。結婚してから葛

飾区へ来たので、友達もいなかったため、出産をきっかけに2ヵ月児の会で友達ができ、今でも仲良くさせてもらっているのが、2ヵ月児の会があって良かった！！奥戸スポーツセンターでのスポーツコースは子供の運動をさせるのに低価格でいろいろなコースがあるので、親子で楽しめて良いです！

- ・下町だからなのかお年よりや近所の方がとてもコミュニケーションをとってくれる所です。小学校の放課後も地域のボランティアの方がみてくれていてすばらしかったです。医療費が15歳まで無料なのはとても助かっています。妊婦検診の費用の負担の減り助かりました。ありがとうございます。
- ・病院なども多く、児童館もありめぐまれていて良い。居宅訪問型保育を受けていますが、区認定の幼稚園から先生が来て下さり、通院する際に、非常に役立っております。子供も来てくれる日を楽しみに待っております。
- ・下町、昔ながらの近所付き合いなどが、比較的、残っている区だと思う。子どもの頃から住み、親になっても地元に残る人も多いので、核家族化でも、交流を持てたり、助け合える知人が多いことは良いことだと思う。
- ・上の子(15才)を育てていた乳幼児期より公的機関の相談窓口が増えたように思います。また、保育所の先生の対応も良くなったと思います。
- ・育児相談をした時、たいした質問でもないのにたくさんの答えをもらったことが嬉しく、子育てに寄り添ってもらっていると感じた。子どもを抱っこして歩いていると、街中でよく知らないおばちゃんに声をかけられる。話がはずむからこれがまた面白い。青戸はおばちゃんが多いので土地柄なのでしょう。
- ・育児休業中は、よく児童館に行き、色々なイベントが催され、他のお母さん達との交流もでき楽しかったです。そういった工夫が、いくつもの児童館や図書館などで行われているのが良いと思います。葛飾区は公園が多く、イベントも行われ、休日を家族で楽しく過ごせます。未来わくわく館や郷土と天文の博物館など施設が多いのも嬉しいことです。気さくなお年寄りが多く、あいさつや声をかけてくださるのがありがたいことだと感じます(ちょっとした注意も含めて)。

【不満なこと、困っていること】

《幼児教育について》

- ・幼稚園代は、江戸川区民の方が多く戻ってくるといううわさを聞きました。
- ・幼稚園代が高いことです。生活がとても困ります。2才違いだと、倍に…。2人目だから免除や半額などもなく毎月の生活がどうなるか不安になります。出産費用、幼稚園代と…もう少し安くなれば、子供を産む人も増えると思います。高校、大学はお金がかかると思うので、少しずつためていけばと思うのですが、出産費用、幼稚園代のハードルはとても高いです。言葉の発達や体の発達、3才前にも、少し気楽に行ける所があるとうれしいです。
- ・幼保一体の施設を増やしてほしい(認定こども園)。地域の開発計画を念頭に、早めの施策をしてほしい(大型マンションが複数建つと、保育施設がすぐ不足する)。

《保育について》

- ・1歳児での入園になる場合(特に2月～3月生まれの児童)で保育園の空き枠が少ないこと。これにより兄妹で、別々の園に通うこととなり、自宅で過ごせる時間が減っている現状です。保育園の方針によるのかもしれませんが、土曜日の私的理由による保育を暗に断ってくる園があり、遊びで預

ける訳ではないのに嫌がられるので困っています。(今回の調査対象者の園は、優しく受け入れてくれます。)区役所の最寄り駅にエレベーターが無いホームがあり、とても困りました。

- ・保育園や学童クラブを2人目以降出産して産休にはいると利用できない。2人3人の子育てが大変であっても公立の保育園、学童クラブを利用できない。出産時や緊急時預けられる施設がない。一時預かり等も事前登録制、登録料を払うこととなると利用しにくい。
- ・保育園で本当に働いているか、いないか徹底的に調べるべきである。本当に働きたい人がとても困っています。
- ・保育園について、まだまだ預かっていただける場所が足りない。確実に保育園に入園させるため、子供が生まれた月によっては早い段階(早い月齢)で入園せざるをえないため、もう少し育児休暇を取りたいと思っても取れない。予約入園できる保育園を増やしてほしい。
- ・平成26年度の保育園入園の申込みをします。年度はじめの4月募集人数で0歳枠は多いのに1歳枠が極端に少ないのはおかしいです。一番手にかかる、子どもと一緒にすごしてあげたい0歳枠を多くしていることは、出産したら早く仕事に戻れと言っているのと同じ。私も含めてそんなに早く仕事に戻りたいと考えている人はほとんどいません。
- ・保育園のお迎えの時間がほとんどの園が18:00~18:15ですが、朝7時位~8時位は早朝の追加金はなく(就業時間が9:00~18:00、通勤時間片道1時間として)、18:15~は延長保育料がかかるので、もう少しのばしてほしい。
- ・保育園によって条件が様々で、通える範囲で仕事の条件に合う保育園は1ヶ所しかなかった。今通っている保育園は夕食も補食も手作りでありがたく思うが、近所の保育園の補食を聞くと既製品(せんべい)もあるそうで、入園前にそういったことを知る機会はなかったので、アタリ、ハズレがあるように思う。足立区のギャラクシティのような屋内型の施設で幼児・小学生が遊べる施設があったらうれしい。最寄り駅にエレベーターがなく、ベビーカーを利用しては不便だった。新小岩駅前東北広場ができてとても不便になった。閑散としているし、誰にもメリットがない気がする。
- ・都心から離れていることをもう少し配慮した、保育時間の設定をしてほしい。病児保育(病後児ではなく)の充実をしてほしい。公立、私立とも認可保育園の管轄にして、同じ管理をしてほしい。
- ・保育園の保育時間(夜の預かり時間)が延長しても19:15まででは、あまりにも少ないと思う。これでは残業ができない。0歳児保育が無い園が多い。子供が複数いると送りむかえが大変。行事が複数で大変になる。育休中の保育園転園が出来ないのはおかしいと思う。学童保育が小3までなので、大変困っている。せめて夏休みなど長期の休みは預かる体制を作って欲しい。

《学童保育クラブについて》

- ・就労証明の提出は学童も含めて同時期、もしくは1通で両方できるようにしてほしい。何度も会社に記入依頼をするのは迷惑がかかる上、時間のムダとなるので。
- ・保育園卒園後、学童保育頂けたとしても19:00のお迎えは間に合わないのでは、下校後から残業しても預かって夕飯出してくれる施設、サポートがあれば良いが仕事やめなければいけないかと思っている。
- ・今住んでいる地区では学童保育が18:00までとなっています。現在、保育園での延長保育を19:15まで利用しており、小学校に上がると働ける時間が短くなってしまいうため、キャリアプランにも影響が出ています。せつかく、都心から通勤の便が良いのに、葛飾区に住むメリットがありません。少し通勤時間がかかっても、学童保育が充実している他区や他県への転居も検討しています。せつかく地元が出来たのに、子供には本当に申し訳ないです。公立の学童保育の時間延長(~19:00)もし

くは私立の学童保育の誘致を進めるなど、働く親へのサポート体制を急ぎ進めて下さい。我が家のように他への流出をこれ以上増やして欲しくありません。

- ・学童保育クラブは市町村によっては6年生まで対象にしている。安心して仕事と子育て両立ができるよう、対象の拡大を希望したい。
- ・保育園に比べ学童の保育時間が短く、入学後に困った。保育料が高い。幼稚園には補助があるのに、保育園にはない。
- ・保育所と比較して、学童の開所時間が短く、小学生になったとたん、仕事の時間を調整する必要がでてくる。学童も保育所並みの開所時間にしてほしい。上の子が3年生までは、下の子の保育料が何割か免除されるが、4年生になると、通常の保育料になる。4年生になると学童もなく、習い事をさせたりと放課後の居場所探しをしなければならず、出費も増大した。小学校高学年以上の子供がいる親も安心して働けるような環境作りをお願いしたい。(ちなみにワクチャレは子供にとっては魅力的な場所ではないようです。)
- ・学童保育、ファミリーサポートが3年生までしか利用できず、おまけに利用時間も延長で19時までなので、お迎えが間に合わず利用出来ていないのが不満。小学校の放課後過ごせる制度が他校の生徒が利用出来ないこと。

《乳幼児家庭全戸訪問について》

- ・保健所にも出生届のハガキを出すことが二度手間と思う。区に届けているので、そこから保健所に連絡した方が確実と思われる(保健所に出さなければ、新生児訪問がないという事になるのは、おかしい。悩みを抱えているママの早期発見にならないのでは?)。

《子育て援助活動支援について》

- ・サポートさんをもっと増やしてほしいですが、1時間あたりの金額が高いと思います。
- ・ファミリーサポートについて。他の区(足立区・荒川区)は、幼稚園や保育園の送迎などにも利用が出来るが、葛飾区はそれが出来ない。また、ファミサポ会員になるにも、子供が(小学生以下)小さいと無理と言われたり、厳しいことが多い。もっと沢山ファミサポ会員を増やし、利用しやすい環境にして欲しい。
- ・「ファミリー・サポート・センター」の対応は良くない。説明もわかりにくい。1年間未使用ならば、自分で申し出て再度手続きする等の対応は、どうかと思う。大変な思いをして(子連れ)登録をしに行ったその日には、利用する事に億劫さを感じた。地区担当の方が良い方だっただけに、印象がとて悪いのは、本当に残念です。

《一時預かりについて》

- ・他の区などに比べればいいと思いますが、やはり働く親への子供の預かり施設をもう少し充実させて欲しいです。幼稚園の延長ももう少し利用しやすい様に料金を下げてもらうなどして頂けると助かります。(パートだと延長料金が時給の半分くらいになってしまう事もあるので)それなら幼稚園にあずけてパートに出られるお母さんも増えると思います。
- ・一時的に預かり可能な所が少ない。駅から遠かったり不便。
- ・親が急病の時など、事前に登録していなくても一時あずかってくれる所があれば、ありがたいです。私立幼稚園の月額が高く、子供全員を幼稚園に入れてあげることができなかった。(3人の子育て中)

- ・会社の飲み会の時に、あずかってくれる場所がない。母親にも、リフレッシュの時間は必要になりますし、職場での飲み会は、仕事の延長上にあり、欠席することで不利になることがある。そのような場合でも利用しやすい場所が増えれば、子供の数も増えていくと思います。

《病児・病後児保育について》

- ・病児保育に預けられない。熱だけ出した時に朝TELしたらもういっぱいといわれ預けられなかった。何日も前から予約が必要と言われ、そんな何日も前から熱が出るなんてわからないので普通の人は病児保育は使えないのだなと思いました。増やすか当日の受入れてをしてほしい。年末年始に仕事があるが、区内に年末年始保育をやっているのが1つの園しかないこと。
- ・病後児保育が足りない。保育園も園によるのかもしれないが、親が休みの時に預けにくい。休みを取る理由が兄弟関係の通院や学校行事の時は協力してもらえるとと思うが、とても預けにくい。両親の一方が39℃発熱して休みを取った時も「休んでいるのだから家でみて」と言われ信じられない思いをした。3人子供がいて、1人が入院している時も育休中だからと早い時間お迎えを要求され辛かった。産休・育休中も通常保育の時間の利用をさせてほしい。お金を払っているのに16:00など早い時間と言われるのは納得いかなかった。慣らし保育の期間中の保育時間も、もっとフレキシブルに対応してほしい。
- ・病後児保育が近くになくて利用できない。児童館、子どもセンターが日曜と祝日は休館。公立保育園に通わせているが、サービス精神がないように感じる。(行事は平日にばかりあり仕事を休まなければならない。仕事の無い日、時間は預ってもらえない。)
- ・病後児保育は小児科が併設されている方が良いと思う。1ヶ所だけあるようだが、そういう施設をもっと増やしてほしい。
- ・病後児保育は風邪など移る病気では預かってもらえず、結局使えなかった。病児保育は家から遠く、病気の子供をそこまで連れていく気にはなれなかった。育休も一年取得したかったが、4月入園しないと入所が難しくなるので早めたのも心残りです。
- ・働いていて、一番困る事は、子供が病気になった時です。区内に病児・病後児施設はありますが、病気の子供をその場所まで、つれていくのも大変です。新たな施設を作るのはコストもかかるのでフローレンスやベビーシッターを使用した時の補助金を出すやり方を導入してほしい。(1日¥2000負担位で。)
- ・病児保育・病後児保育ができる施設が足りない。保育園について、まだまだ預かっただけの場所が足りない。確実に保育園に入園させるため、子供が生まれた月によっては早い段階(早い月齢)で入園せざるをえないため、もう少し育児休暇を取りたいと思っても取れない。予約入園できる保育園を増やしてほしい。

《相談支援について》

- ・相談しにくい環境。日曜日しか休みがない人には手続き等がしにくく、子育ての制度がうけれない。
- ・(葛飾区の子育て等)全て。理想論、マニュアル通り、何をしているのかもわからない。虐待と思われたくないから、検診も連れて行くが、行けばその後のサポートがあるわけでもなく、教科書通りの子育てを伝える検診も個人に合った対応もなく、特に高砂センターの3ヵ月検診のおばさんが化粧濃くて早くしろ!!泣かすな寝かせろ、着せる!!エラそうで嫌でしょうがなかった。ママになって3ヵ月。初めての検診なのに、親の気持ちをわかってない。3歳検診も同様。仕事中にTELして来てちゃんと育ててるか聞くのも???。時間が空いて相談に行っても「今日は相談日じゃない」と帰され、それで満足ですか?は意味不明。

- ・いろいろな施設があってもひきこもりや人見知りなママには行きにくい面があると思う。予防接種も金銭的に負担大きかった。1才児検診も自費で残念でした。葛飾区は子育てより老人向け援助の方が充実しているイメージがある。
- ・相談場所によってですが、もう少し、メンタル部分でいい助言がほしい。相談にいくと、お母さんの接し方がわるいという助言が多く、おちこんでしまう。手さぐりの部分もありやっているのに、言い方や、助言方ほうも勉強して、プロとして、いってよかったと思える場がほしい。
- ・数年後に何か所か保健センターがなくなると不便で、今までのように相談する環境がなくなってしまう。

《情報提供について》

- ・形上の制度は整っていると思うが、利用する側はどんな制度があるか、または利用方法が全くわからない。冊子があってもわかりにくくバラバラなので理解できない。一冊にまとまり、また、皆が集まる場で配布すれば全ての親に周知できると思う。働いている親はサークルや子育て広場などに参加する時間がないので。
- ・自らががんばらないと情報が得られないこと。
- ・平日フルタイムで働いています。土日にリフレッシュしたり、子供と遊んだりするイベント情報がほしいです。
- ・制度はいろいろあるので、見せ方の工夫が必要と思います。もったいない、と思います。欲を言えば、病気の時(子どもが)の面倒をお願いできる制度や、会社(民間は特に)が、休みをとりやすくしてくれる制度がほしいです。
- ・情報が少ない。どのような活動をしているのかよくわからない。待機児童が多すぎる。募集を増やしてほしい。学童クラブをふやしてほしい。共働き夫婦が安心して働けるように働きかけて(組織づくり、ネットワークづくり)ほしい。

《その他》

- ・園の運動会などで近隣住民などから「うるさい」とクレームがでる事があるそうだが、1年に1回で1日中させるわけではないので、理解して頂けるような地域でのコミュニケーションが必要だと思う。→クレームを出す住民の方も園の近くに住んでいるのだから、そういった事も理解してほしい・・・と思う。公園や広場などでも、サッカーなどボール遊び禁止になっている所が多いので、もう少しのびのび遊べる場所があっても良いのかなあ?と思う。
- ・ベビーカー生活がしづらい(エレベーターがない等)。子連れで行きやすい店が少ない。小学校へあがってから、学童では預かる時間が短く、子供一人で留守番をしなくてはならなくなる。保育園と同じにするべき。自転車置き場が駅から離れている。病院特に小児科が少ない。子供の物を買える店が近くにない。19時までやっている学童が少ない。住んでいる地域にない。全てが19時までやってほしい。(病児保育も近くになく、病気の子を遠くに連れていけるわけがない。数が少なすぎる。)
- ・インフルエンザ等、感染力の強い病気の予防接種の子供の無料化、もしくは助成化を願います。
- ・歩道の確保が少なく、車道に出ないと通行できないので危ないところが多い。三期休暇時の学童保育クラブの預け時間を早くして欲しい。7:30〜とか・・・。三期休暇中も、4年生〜6年生も預けられるところがあると助かるし、大人の監視があると安心できる。葛飾教育の日を数ヶ月に一度にして欲しい。共働きなので、休めないのはキツイ。学童保育クラブで月の料金をお支払しているのに午前中通院し、午後から学童クラブへ行った際、一般の子どもと同じ扱いになってしまい、嫌な

思いをしたことがありました。子供が具合が悪く、TELがかかってくるのはありがたいのですが、どうしても早くお迎えに行けない場合、その時だけでも預って欲しい時がある（緊急時を除く）。

- ・児童館にもっと赤ちゃんが来られるような環境にしてほしい。建物(児童館、保育園、小学校)が古くて、預けるのが心配。保育園の入園時の選考に関する情報公開。全員が認可保育園に入れるシステム作り。区立の保育所の保育内容を教育的なものも多く取り入れてほしい。ただ庭園で遊ぶだけでなく。いろいろな事を経験させたい。
- ・道がせまいわりに車が多いので、子供と歩くとこわい。自転車もろくに通れない。ブロックのへいが多いので、大きな地震が来たらくずれそうな所が多い。0歳児保育できる所が少ない。保育園のたてものが古い。昭和40年代のものが多く。アスベストが囲い込みの保育園がある。
- ・子育て支援の建物がどこも古くさくていやだった。(何か所も行ったが)今は幼稚園に通わせているので、利用しないが、子供が赤ちゃんの頃はオシャレな場所へも行けず、せめて子育て支援の建物がオシャレで清潔感があったら、ストレスもなくなっただろうと思った。古くて、行くのが悲しくなってあまり行かなくなった。床も冬は冷たい。トイレも古い。家にいる方がマシな気がした。先生や働いている方達はとても優しくかった。
- ・急な病気、ケガ等した時に、救急病院が近くになく不便。受け入れ先がなかなかなかったことも。幼稚園の補助が少ない。保育園の方が第2子以降は特に優遇されている気がします。
- ・障害児対応。

【その他ご意見やご要望など】

《幼児教育について》

- ・保育→学校に上がるに当たり、保育という7つから教育に変わりますが、その連携がいかげなものなのか？と感じます。幼稚園はどのような流れで学校とつながっているかわからないですが、保育園と学校との横のつながりを密にして、子供達の成長を助ける体制になれば・・・。
- ・子どもがいて周囲の理解を得るといことはだいぶ難しくなっているように思います。幼稚園の行事などは、ご近所にすごく気を使って行っているようです。(なつまつり、うんどう会など)ご近所に声かけをしてもうるさいと言って警察を呼ぶ方もいます。子どもの心を育むお仕事をなさっている幼稚園の先生方、大変ではないかと思います。いつも先生方に感謝しています。
- ・他の家庭と違っている(母が働きに出て、父が家で仕事をしている)ので、保育園ではなく、幼稚園に登園させているが、幼稚園でも特に分けへだてなくしてくれてありがたい。
- ・保育園に入れたママ友は仕事のない日でも預けます。幼稚園のママ友は仕事を探しても9:00~14:00なので仕事が見つかりません。また、振替休日など多いので、一週間(5日間)毎日できますと言えず採用されないと聞きます。せめて、預かり料金を払わず、9:00~15:00 ぐらいまで幼稚園で預かってもらえれば、パートでもやとってもらえると聞きました。預かりを入れるとわずかですがパート代がなくなります。

《保育について》

- ・区内どこに住んでいてもある程度の平等な利用機関を整えてもらいたい。休日保育の申請をしようとしたが、書類をもらいに保育園に行った時、説明をしっかりともらえず、結局書類もたりず、半年たっても申請できない状態です。必要、不必要に関係なく提出しなくてはいけない書類はすべて渡してもらいたい。子育てに困っていた時、どうしたらいいのかわからなくなってしまった時に通っていた保育園の先生に相談してみたが何の解決にもなりません。結局、先生は決められた時間の中での勤務でしかなく、私一人のために作る時間もなく、話も半分くらいしか聞いてもらえませんでした。勤務時間が不規則な私には翌日の出勤時間が急に早くなることがあります。保育園の開いている時間内にそれがわかる時はまだいいのですが、夜遅い時間に会社から指示があった時、急ぎ翌日はいつもより10分だけ早い時間に子どもを連れて保育園に行きました。その時、園長先生に前日までに連絡くれないとダメですよ、今回だけはとおめにみますけど、と言われました。保育園に連絡を入れられない夜間の時間帯は翌日の早出はできないのでしょうか。こういうことは今後どうにかならないのでしょうか。
- ・保育所の入園基準、就労期間も大事ですが収入もかなり考慮してほしい。うちのように低所得なのに入れず認証では働いても月謝でなくなってしまう。
- ・園よっての延長、土曜保育は区で統一して欲しい。私立が多くて時間はそのせい！！と言われた「選んだのは自分でしょ？」の区への対応も不満。同じクラスの親が入園後職辞めそれを区に報告したのに、その子は園に通って、役所に聞いたら、書面で確認しているので・・・と。それで、他の人は入れず待機しているのに、何も生かされていない事に不満。何をもって満足していますか？と思っているのかはこちらとしては一切分からない。ファミサポも人が見つからず、ファミサポ窓口も遠く、何からなにまで不便です
- ・子供3人のうち2人は早生まれであるが、保育所に入所するうえで非常に不利であった。子供の出産予定日を知ったときに一喜一憂するような、また出産予定日を計算して子作り計画をしなければならぬような世の中であることは非常に残念です。早生まれの子も待機児童とならないような制度づくりをしてほしいです。
- ・3歳の娘を保育園にあずけていて、もうすぐ1歳になる娘は同じ保育園に入れたくても入れません。上の子のクラスは弟、妹が下の娘と同じ学年が多く、四月の入園を待っても同じ保育園に入るの難しいと思われ。本当に困っている人が入所できず、近くに祖父母がいらして送りむかえなどをされている方を見かけると、不平等な気がしてなりません。兄弟・姉妹は必ず同じ保育園の時間に合わせて短くしているのに、フルタイムでないと20ポイントにならずに、得点差だけで入所できないというのも納得がいきません。勤務体系や、各家庭の現状を1点2点だけで判断されるのは悔しいです。入所を望んでいる人が、必ず入所できる葛飾区であってほしいです。
- ・兄妹が同じ園に通えるようにしてほしい。妊娠した段階から入園希望者数を把握するなどして、先手を打って保育環境の整備を進めてほしい。(安心して仕事できるように)保育の目処が立てば、安心して子供を産めると思うので・・・。3人乗り自転車が行ける幅広い歩道の整備をお願いします。病児・病後児保育施設の増設、整備と、既存の保育園との連携をお願いしたいです。会社から片道1時間以上あるので、診てもらえると助かります。こちらこそ、よろしくお願い致します。ありがとうございました。
- ・保育園へ入れないので働けず、そのため、子どもにお金の面でかわいそうな思いをさせている。
- ・保育園はルールが厳しい。親が平日に休みをとって役所へ行くとかそういう用事で保育園に子供を預けるコトをNGとする理由が分からない。だから親は休みをコソコソとするようになってしまう。
- ・保育所とか学童とか入れるだろうか…と子育て自体より施設関係で頭が痛い。

- ・現在私は育児休業中で、今回は2年間の育休をとることになりました。ちなみに今回は2回目で、1人目の時は1年半で復帰しました。最大3年間の育休の取得ができるのですが、復帰が決まっているので予約入園ができると安心します。よろしく願います（上の子が保育園に通園していない場合のみでも良いです）。
- ・保育園の延長保育時間が20時位まで預けられる園がもう少しあっても良いと思う。（今は必要無いが、フルタイム勤務&残業があった時に19時だとギリギリだったため、いつもあせりながら帰っていた）。延長保育がその日毎に申請できると助かる。1ヵ月連続ではなく、たまに残業になってその日に利用したい！という時にそういった申請方法があると良い。以前は延長保育料を1ヵ月払っていたが、残業が無かった月などは、利用していないのに、延長保育料は払っていた・・・という事があったので・・・。

《学童保育クラブについて》

- ・保育園に入れば、園でのサポートが充実しているので安心して預けられるが、小学校他学年の下校後の預り施設、昼休み中の預り施設をもっと充実させて欲しい。区での子育て支援は何があるのかホームページ等ではわかりづらい。
- ・学童保育を通学している学校内に作って欲しい。小さい子供が学校終了後にまた場所を移動するのは体力的にもきつく、行き帰りの安全も親にとっては不安。わくわくチャレンジ広場も一番必要な1年生が使えずあまり意味を感じない。また夏休み等の長期休暇中は利用できないので、働いているお母さんは有料の学童保育を利用するしかなく、それも枠がないことが多く困る。
- ・小学校4年生からの放課後、長期休み(春・夏・冬)の対応を考えてほしい。長期の休みの時だけでも小4～小6の学童の受入れを考えてほしい。
- ・学童保育を充実して欲しいです。子供が小さいうちは会社も短時間勤務できますが、小学生になるとフルタイムになります。しかし、学童は保育園より、開始時間が遅く、終わる時間も早いので、困ります。保育園は充実しているので次は学童をお願いしたいです。
- ・学童保育クラブ入会に関して。育児休業中の場合は、仕事復帰月の初日から入会可能とあるが、できればもう少し早くから慣らしあずかりなどしてくれると本人も助かると思う。急に入れられて不安を感じると思うのですが・・・。
- ・小学校に行ってから時短勤務がなくなると、地域の方に頼るか、仕事を変えるしかありません。学童だと18時までで、帰宅時間に間に合いません。家の近くの公立の学童でも延長してほしい。休日保育も9:00～17:00までなど会社を遅刻して預け早退して迎えに行かないといけないなら使えません。
- ・学童保育が少ないようで、年が少し上のお母さん方から不安だという声をよく聞く。わくチャレも拡充しているようだが、子どもの人数に対して大人が少ない。区として取り組むならもっとしっかり大人の数を確認して安全に見守りができるようにしてほしい。
- ・学童のない4年生以降、宿題をしたり、お弁当を食べたりする場所をもっと充実していけたら良いと思う。わくちゃれは大変有難いが、あまり使用したがないため。親もわくちゃれは良い雰囲気と思いません。親子で事前見が許されないこと、4年生は利用の説明会に参加してはいけないことなどはおかしいと思います。（親が見て伝えることしかできないのはおかしいです。4年生から入会する子は多いと思うのですが、なぜなのでしょう？ルールがわからないまま生活がスタートするのは不安です。）スタッフからボランティアでやってあげているという空気を感じます。手当を出して子どもが安心できる方をお願いしたいです。

《地域子育て支援拠点について》

- ・幼稚園に入園前まで、上の子も下の子も子育て支援センターを利用していました。気軽に育児のことなど先生に相談できましたし、お友達とのおしゃべりや情報交換の場でもあり、支援センターは、とても楽しくありがたい場所でした。利用できてとても良かったです。
- ・青戸保健所内の、センター「いろは」は、0才の頃、近所というのもあり、よく利用させて頂いた。人見知りも、(自身が)あり、しかし、相談したい時に、同施設内にて相談も個別に出来た為、非常に安心できた。

《一時預かりについて》

- ・一時保育の金額が高い。専業主婦の家庭はあずけたくてもあずけられない。不妊治療も保険適用にしてほしい(子どもを作ることにも力を入れてくれないと、子どもの数は増えない)。
- ・一時保育の時間を長くしてほしい。小学生の一時的・不定期の保育(休日等)。予防接種の補助をもっと充実させてほしい。

《病児。病後児保育について》

- ・病児保育が足りないと思います。保健所での検診が平日の日中なのを週末にするなどして欲しいです。(→仕事が休みなので)内容も一般的で保健所じゃなければ…という内容や対応ではないと思います。
- ・病児保育に関しては、通園中(保育園児・幼稚園児)の場合は通っている保育園で病児保育をしてもらえるのが理想。子供も慣れた環境で安心だと思われる。ほとんどの園で看護師が勤務しているが、看護師、医療者としての役割を果たしていないのが現状(保育士をしていることが多い)。もっと、看護師がいるという機能を使うべきと考える。
- ・保育園の老朽化。病児保育施設の数を増やして欲しい。保健センターが遠すぎる。

《妊婦健診について》

- ・わが家には3人の子供がいます(7才、5才、3才)。第一子の時は妊婦健診も毎回自腹でしたが、3番目の時は区からのほぼ助成だったので大変助かりました。全体的には住みやすい町だと思いますが、まだ地域の方々の子育てに関する考え方も様々なので、育てやすいとまでは言えないのかなと思います。

《相談支援について》

- ・もっと気軽に子どもの悩みが相談できるような場を増やしてほしいと思います。遊びの場も。(青戸の施設を区内の各地に欲しいです。)
- ・子育ては、日々、くだらない悩みとか多々あり、それをいちいちTELしてとかそういう会に行ったりする人は熱心で時間もあり、余裕のある人だと思う。ネット、メールでぱっとしてぱっとわかると便利だと思う。

《情報提供について》

- ・葛飾区(現住所付近)では子どもが多いときくのでそれなりに子そだて支援に積極的な区だと思いますが、フルタイムで働く母で、とにかく時間がなく、情報もとる時間がないので、正直、良い悪いの判断がつきません。→子どもの育ちのためにも忙しい母親のサポートを宜しくお願いします。

- ・周りに、区の支援の情報を知らない方が多いと思います。
- ・子育て中の家庭向けに、子育て情報を何らかの形で提供してほしい。何か郵便で発送する時に子育て情報を同封してほしい。葛飾区役所内の課のカベをこえて。(別件)ですが、選挙後の情報がわからない。立候補者の掲示板に当選、落選のシールを貼って2週間ぐらい掲示してほしい。
- ・情報が伝わってこない。全てが亀有、立石、青砥に集中してバスの本数も少なく、行けない施設が多い。
- ・「広報かつしか」の中に子育て中有の家庭への情報ページをつくって欲しいです。“感染症がはやっている”情報や、地域で、子供用プレイスペース付の美容院や子連れでママたちが集まれるお店の告知など、情報のシェアをお願いしたいです。
- ・サービスの存在は知っていても、調べる余力がない。各家庭に応じ、コーディネイトの相談を受けて、してくれたら嬉しい。

《その他》

- ・区報かつしかを読んでいると、小学生以上の参加ができるイベントは数多くありますが、もう少し小さくても参加できるイベントがもっとあったらいいなと思います。
- ・給料が減っているので、増えたら習い事に通わせてあげられるのに。
- ・葛飾区は子育てしやすいと思います！前はチャイルドシートの貸しだしなどあったようですが、今はないのかな・・・？そんなお得なかんじが良かったです。今後も期待しています。ありがとうございました。
- ・児童虐待が問題となっているが、区の事業や学校、保育園等が連携して講座や講演会などを通して普及活動してほしい。いじめ防止のNPOの講座や、ノーバディーズパーフェクトなどに参加したが、とても役に立ったので継続していただきたい。虐待は連鎖していくものだと思うので、区全体として各部署が連携して教育、支援できるような体制をとってほしい。
- ・小学校4年生ごろからいじめがひどかったのでスクールカウンセラーの先生に相談しましたが、話を聞いて頂いたのですが、先には進まなかったです。不登校で近くで行ける学校があるといいと思いました。
- ・子供たちが遊ぶ場所が少ない。あったとしても、野球、サッカー禁止が多くつまらない。4学童保育クラブはどうして6年生までないのですか？共働きなので、4年生から家のカギを預けるのに不安があります。
- ・日曜日や祝日に親子で参加できる授業みたいなことや、保育園で通っている人にも、学習できるような講座をつくってほしい。
- ・除染をしっかりきっちり、葛飾区は基準も高すぎて安心した子育てなんてムリだと思います。都内でも線量が事故以来高くなったホットスポットなのだからこそ基準を都よりきびしくひくくして、てっぺんまで除染すべきです。
- ・乳幼児を抱えて仕事をする上での一番の問題がこどもの体調不良でいつもの園で預けられないとき。親は休まざるを得ないが、仕事や部署の雰囲気(看護休暇等の制度があっても)によっては非常に休みづらく、会社の人の顔を思いうかべるとそれで親は気持ちがなえるし、めげそうにもなる。キャリアをきずく上で人より弱味となってしまう。私は2人目の復帰後に病後児保育に登録し、何度か利用したが、連続して預けるとかなりの出費。うちからは自転車を使って預けにいかねばならず、朝の時間に大変。いつもの園にそれぞれ病後児保育のようにみてもらえる部屋(制度)があれば急な

体調不良にも備えられるので、ぜひそのような制度を区で考えてほしいです。やはり、金銭面での補助があってほしい。葛飾区内だけの特別な消費税？のようなものがあるのもいいし、それを財源とした、こども1人1人に対する、親の世帯収入に関わらずもらえるものがほしい。予防接種の自己負担を減らしてほしい。→ゼロにしてほしい。例えば、(保育園に)0、1、2才に入れるまでに接種する場合、みずぼうそう・おたふくの負担はゼロ、など。都心部に最近増えている民間の学童保育を誘致してほしい。亀有駅周辺なんかは働くママも多く、ただの学童よりプラスアルファでやってくれる学童を望むママが多数います。保育園だけでなく、足立のいずみ幼稚園に通わせているママなんかは教育に関する感度が高く、ニーズはあると思います。働いているから習い事に通わせられないのではなく、葛飾区も教育感度の高い区になってほしい。

- ・区役所の立て替えの前に、子供達の施設を立て替えをしてほしい。せめてトイレは新しくしてほしい。小学校なども、古くて汚いのはいやだ。レトロならOK。図書館と児童館は併設してほしい。そうすれば大きくなって通えると思う。わくチャレはとっても良い活動だと思う。うちの子も将来利用させたい。※幼稚園、保育所、小・中の先生方への手当を厚くしてあげてほしい。子供を育てていくうえで、先生方はとても大事な存在です。できる限り守ってほしい。先生達(うちのは幼稚園)はプロです。尊敬しています。守ってください。
- ・こういう紙でくると、思っていたことがあっても忘れてしまうのですが、そのたびそのたびで意見を言えるところがあればいいな。と思います。意見箱みたいなのは、どこでもあるのですかね?? 知らない事が多すぎて・・・。こういう、案内をみて、いろいろ「施設」なりあることもしつつ、考えることもできました。ありがとうございました。
- ・障害児の施設を増やしてほしい。小学校一成人になっても。
- ・赤ちゃんの健診(歯科等)の日程をもっと早めに出して何日か枠が欲しい。仕事の休みが取れないのでせめて2ヵ月ぐらいの余裕を。
- ・子供と親で自由に出入りできるフリースペースがもっとほしい。
- ・近隣の保育園のママ(同じ0歳児クラスや一つ上)と交流の場がほしい。(2ヶ月児の会の様な感じで)平日はお迎え時間も違い、話す事はほとんどできないし、一つ上のクラスで知り合いを作る事は機会がない。月に1回でも、例えば金曜の夜、土曜 or 日曜のお昼等、そのような機会があれば、情報交換できそうですが…。葛飾区は立石周辺が中心なので仕方ないとは思いますが、新小岩地区の児童館など整備がなっていない。新しくリニューアルする等、予定はないのでしょうか?
- ・公園の遊具が減り、避難用の場所となっている。子どもの遊び場減っている。危険という理由で遊具がなくなるのは、おかしいと思う。シーソーや鉄棒がある公園が少ない。
- ・道路拡張して車だけが通りやすくなったりしているが、車同様、子供年寄りが歩道橋を通らず渡れる様に整備するのも必要だと思います。特に立石一四つ木間の踏切に面している道路、電車が通る時は信号が長い、そうでない時は信号がみじかい。高架になるが歩道もきちんと整備して欲しい。子供を歩かせるのに本当に注意が必要。公園の遊具は新しいものは皆同じ感じなので、公園の色を出して欲しい。渋江公園はボールがダメなのにキャッチボールをしているので広場と遊具の間にネットが欲しい。目の前でボールが飛んできてこわかったし、一つ間違えればケガしていた。
- ・習い事をさせたいが、共働きだと送迎者がいないので今こまっている。
- ・近所の公園では野球やサッカー禁止です。戸外遊びの大切さを区でもうたっているのに、自由に遊べる場所を増やしてほしいです。学童保育室の増設、利用できる年齢の引き上げ(6年生まで)を希望します。松戸では6年間利用できるそうで夏休みなどの長期休暇も安心して仕事に行ける環境を作っていただきたいです。よろしくお願いします。

- ・児童館のような、子ども連れで集まれる施設を増やしてほしいと思います。

Ⅲ. 資料

「葛飾区子ども・子育て支援ニーズ調査」 ご協力をお願い

日頃から葛飾区政にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

突然のご案内で大変恐れ入りますが、葛飾区の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

葛飾区では、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号）に基づく新たな子ども・子育て支援の制度の下で、教育・保育・子育て支援の充実を図るため、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施する準備を進めています（平成27年度から実施予定）。

この調査は、区が確保を図るべき教育・保育・子育て支援の「量の見込み」を算出するため、住民の皆さんの教育・保育・子育て支援に関する「現在の利用状況」や「今後の利用希望」を把握するために行います。また、現在の区の子育て施策・事業についての評価についてもうかがい、今後の施策充実に努めて参りたいと考えています。

調査結果は、今後の葛飾区における子ども・子育て支援施策を検討する上で、大変重要な資料となります。お忙しいところ、大変恐縮ではございますが、本調査の趣旨にご理解いただき、ご回答いただきますよう、お願い申し上げます。

※ この調査は、区内にお住まいの小学校就学前のお子さん（平成19年4月2日～平成25年4月1日生まれ）から、無作為で6,000人を選ばせて頂き、その保護者の皆様にご協力をお願いするものです。

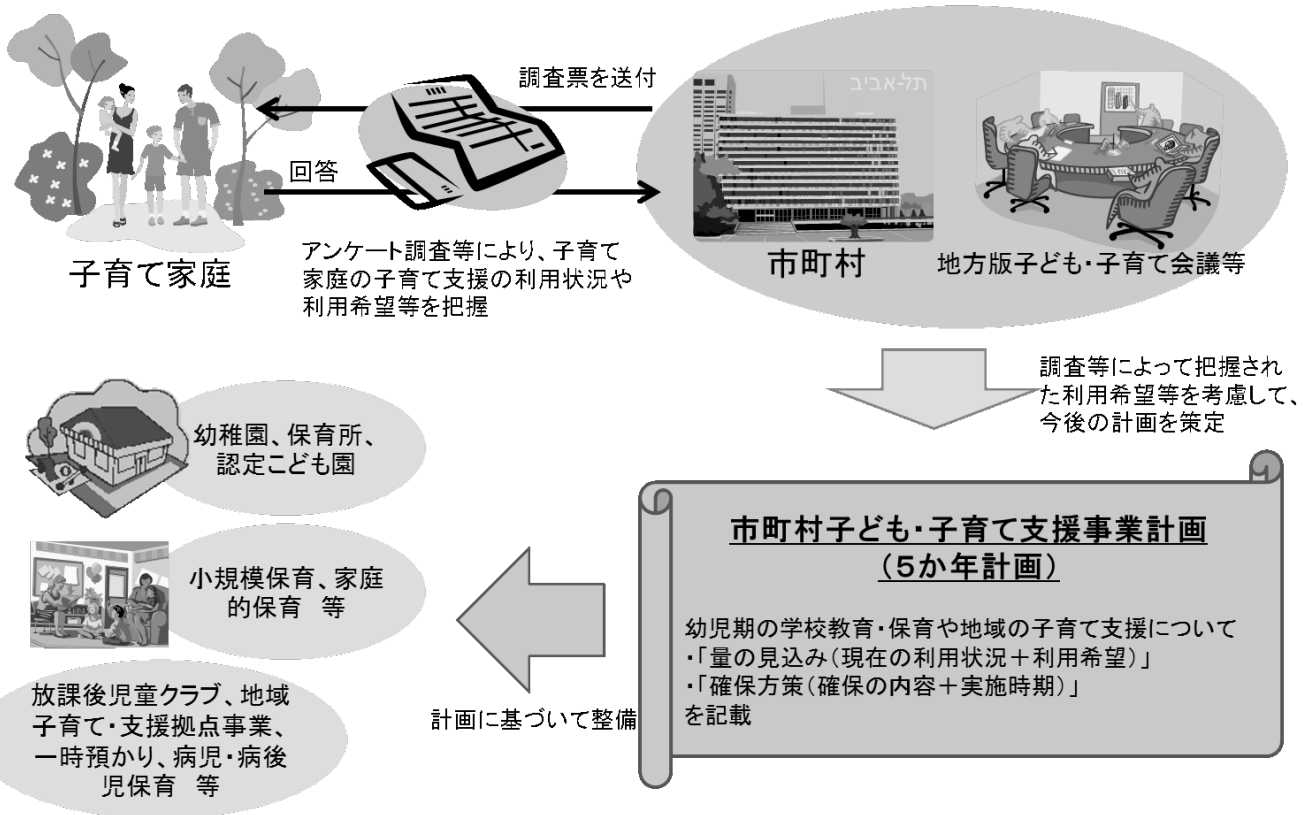
調査は無記名で行いますから、回答された方やご家族等が特定されることはありません。また、ここで回答していただいた内容（施設や事業の利用希望等）は、施設や事業の具体的な利用の可否を確認・決定するものではないので、将来、利用希望を変更していただくことは差し支えありません。

この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

調査主体：子ども・子育て支援新制度に関すること
葛飾区子育て支援部 育成課計画推進係
電話03-5654-8595
(受付時間：月～金 9時～17時 *祝日をのぞく)

委託先：調査の質問内容や回答方法等に関すること
株式会社 社会構想研究所 担当：森、斉藤
電話03-6430-9277
(受付時間：月～金 10時～18時 *祝日をのぞく)

いただいた回答は地域の子育て支援の充実に生かされます



(図・厚生労働省資料)

【用語の定義】

この調査票における用語の定義は以下のとおりです

- ・お 子 さ ん：特に注記がない限り、この調査票を送った封筒の宛名に記されているお子さんのことをいいます。
- ・幼 稚 園：学校教育法に定める、3～5歳児に対して学校教育を行う施設（学校教育法第22条）
- ・保 育 所：児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設
(児童福祉法第39条)
- ・認定こども園：幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設（就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律第2条第6項）
- ・子 育 て：教育・保育その他の子どもの健やかな成長のために行われる支援
- ・教 育：問16までにおいては家庭での教育を含めた広い意味、問17以降においては幼児期の学校における教育の意味で用いています

葛飾区子ども・子育て支援ニーズ調査回答用紙

返信用封筒には、この冊子のみお入れください。

【調査項目】	ページ
1・お住まいの地域について ----- ・ お住まいの地域について ・ 住まいについて	2
2・お子さんご家族の状況について ----- ・ お子さんの生年月日 ・ 家族について ・ 子育てを主に行っている方	2
3・子育てに関する人のつながりについて ----- ・ 子育てに関わっている方 ・ お子さんを見てもらえる祖父母や知人・友人の状況	3
4・お子さんの保護者のはたらき方について ----- ・ 保護者のはたらき方の状況 ・ フルタイムへの移行希望 ・ はたらき方の希望について	5
5・お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について ----- ・ 利用している事業の種類 ・ 利用している頻度について ・ 利用している理由について ・ 今後の利用希望について	7
6・お子さんの地域の子育て支援事業（子育てひろば）の利用状況について ----- ・ 利用している事業の種類 ・ 利用している頻度について ・ 今後の利用希望について	10
7・お子さんの土曜・休日や長期休暇中の「定期的」な教育・保育事業の利用希望について ----- ・ 利用の有無 ・ 利用している理由について ・ 今後の利用希望について	11
8・お子さんの病気の際の対応について（平日の教育・保育を利用する方のみ） ----- ・ 病気やケガで教育・保育事業が利用できなかった経験 ・ 病児病後児保育の利用希望について	12
9・お子さんの不規則の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について ----- ・ 利用の有無 ・ 利用していない理由について ・ 今後の利用希望について	14
10・小学校就学後の放課後の過ごし方について（お子さんが5歳以上の方） ----- ・ 小学校1～3年生の放課後の過ごし方の希望 ・ 小学校4～6年生の放課後の過ごし方の希望 ・ 学童保育クラブの利用希望	16
11・育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について ----- ・ 育児休業の取得の有無 ・ 取得しなかった理由について ・ 育児休業給付を知っているか ・ 職場復帰のタイミング ・ 職場復帰の希望とのずれについて ・ 短時間勤務の利用の有無	18
12・子育て支援施策に関する満足度について -----	22

※ このアンケートでは、特に注意書きがない場合は、この調査票の封筒の宛名に記された「お子さん」についてお答えください。

回答がすんだ調査票は、返信用封筒に入れ、11月11日までに、お近くの郵便ポストに投函願います。

お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お住まいの地域をご記入ください。

_____丁目 (例：立石5丁目)

問2 お住まいについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | |
|---------------------------|---------------------|
| 1. 持ち家（戸建て） | 2. 持ち家（マンション等の集合住宅） |
| 3. 借家（戸建て、マンション、団地等の民間住宅） | 4. 借家（社宅、寮、公務員住宅等） |
| 5. 借家（公営住宅、都市機構住宅） | 6. その他（ _____ ） |

お子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問3 お子さんの生年月月をご記入ください。(数字でご記入ください。)

平成_____年_____月生まれ

問4 お子さんは何人きょうだいですか。当人を含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。
2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

1. きょうだい数_____人 2. 末子の生年月月 平成_____年_____月生まれ

問5 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 母親 2. 父親 3. その他（ _____ ）

問6 この調査票にご回答いただいている方について以下の問いにお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 夫または妻がいる 2. 夫または妻はいない

問7 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親 4. 主に祖父母 5. その他（ _____ ）

問8 問7で回答された方は葛飾区に何年お住まいですか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------------|--------------|------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年～3年未満 | 3. 3年～5年未満 |
| 4. 5年～10年未満 | 5. 10年～20年未満 | 6. 20年以上 |

